

					決算事項別明細書		P139
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		市民参画課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	バス事業費				款	07 商工費
事業開始年度		平成28年度				項	01 商工費
事業進捗度		-				目	07 バス事業費
予 算 額		253,831,000 円			目的	地域住民の日常生活を支える交通手段の確保を図る。利便性の高い公共交通を提供し、地域内外の移動を誘発し、交流と地域の活性化を促進する。	
決 算 額 A		248,547,663 円					
財源内訳	国・県支出金	県1/2	13,334,000 円				
	地方債	過疎	16,400,000 円				
	その他	使用料外	47,149,817 円				
	一般財源		171,663,846 円				
人件費コスト B		2.5人役	18,492,500 円		総事業費 A+B	267,040,163 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【イエローバス運行事業】	229,200,392円	13,334,000円	0円	47,149,817円	168,716,575円
平成12年4月より民間の事業者の撤退を受け、一部事務組合方式で運営する広域生活バス（通称：イエローバス）の運行を開始し、平成16年の市町村合併後は新市で運行を引き継いでいる。					
利用実態により「海岸線」を廃止した。					
乗降カウンターシステムを導入し、一部の車両では詳細な乗降情報をつかめるようにし、今後の路線設定に活かせるようにしたほか、車内案内モニターを設置し利用者の利便性向上を図った。					

成果指標		目標値	実績値	差引
イエローバス乗車人員数（人）		360,000	323,888	△36,112
乗車人員推移（人）	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
	411,241	406,411	389,426	366,966
				H27年度
				332,633

【イエローバス購入及びバス停留所整備事業】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
	17,614,800円	0円	16,400,000円	0円	1,214,800円
市民の移動手段の確保と充実のため小型車両2台を購入した。 所有台数 中型11台 小型16台					
利便性を確保するため、バス停（上屋）を広瀬町菅原に設置した。					



菅原バス停



導入車両（2台）

【代替バス運行補助事業】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,579,471円	0円	0円	0円	1,579,471円
合併以前より旧広瀬町が仁多交通（現 奥出雲交通）に西比田地区から三成地区までのバス運行を委託していたものを新市になっても引き継いで委託している。西比田地区は奥出雲町の経済圏域にもなっており、同地区住民の生活の利便性の向上に努めている。					
なお、運行欠損金を奥出雲町との距離按分により補助している。 利用実績数 1,058人					

【南部町バス運行負担金】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
	153,000円	0円	0円	0円	153,000円
平成17年度より、南部町の運行する路線バスの1系統が須山地区に乗り入れを行い、その経費の一部を負担している。 利用実績数 35人					

						決算事項別明細書		P141	
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		土木建設課	
中事業	10	道路交通網の充実				予算科目	会計	01	一般会計
小事業	13	道路橋りょう総務費					款	08	土木費
事業開始年度		平成28年度					項	02	道路橋りょう費
事業進捗度		-					目	01	道路橋りょう総務費
予 算 額		21,506,000 円				目的	市道の認定や道路改良等に伴う台帳の補正や整備を行い最新の基礎資料とする。道路賠償責任保険へ加入し、市道の管理瑕疵による事故に対応する。		
決 算 額 A		21,082,040 円							
財源内訳	国・県支出金		0 円						
	地方債		0 円						
	その他	使用料外	36,115 円						
	一般財源		21,045,925 円						
人件費コスト B		1.3人役	9,616,100 円		総事業費 A+B		30,698,140 円		

【事業内容】

市道の認定・廃止や道路改良等に伴う構造・形態の変化を反映させた道路台帳の補正・整備を行い、最新の基礎資料を作成した。また、道路賠償責任保険に加入し、市道の管理瑕疵による事故に対応した。

○道路台帳業務委託料 19,984,320 円

- ・安来市道路台帳補正業務
- ・安来市広瀬町メッシュ化業務
- ・安来市道路管理システム整備業務
- ・安来市幹線道路見直し業務

○損害賠償責任保険料 819,720 円

- ・市道延長 990 km
- ・農道延長 145 km
- ・林道延長 30 km
- ・その他道路延長 1 km

○道の駅連絡会負担金 120,000 円

- ・中国「道の駅」連絡会 「道の駅」広瀬・富田城、「道の駅」あらエッサ
- ・全国「道の駅」連絡会 「道の駅」広瀬・富田城、「道の駅」あらエッサ

○旅費 158,000 円

					決算事項別明細書		P141
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	16	道路維持費				款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-				目	02 道路維持費
予 算 額		292,431,000 円			目的	市道の維持管理・修繕・除雪等を行い、安全で円滑な道路網を確保する。	
決 算 額 A		286,223,600 円					
財源内訳	国・県支出金		国	26,316,488 円			
	地方債		過疎	25,000,000 円			
	その他		負担金外	285,424 円			
	一般財源			234,621,688 円			
人件費コスト B		3.0人役	22,191,000 円	総事業費 A+B	308,414,600 円		

【事業内容】

市内一円の市道の維持管理・補修・修繕等を行い、安全で円滑な道路網を確保した。また、冬季におけるバス路線及び通勤・通学路等の交通路を確保するため、計画的に除雪車を購入するとともに除雪体制の維持に努めた。

- 道路排水ポンプ点検委託料 777,600 円  
・ポンプ場保守点検業務 南十神ポンプ場外5箇所
- 市道維持補修業務委託料 62,016,640 円  
・市道維持補修業務 36件
- 市道樹木維持管理委託料 3,477,600 円  
・市道樹木維持管理業務 市道城谷堤谷線外15路線 防除・施肥・せん定・除草一式
- 除雪業務委託料 114,102,566 円  
・除雪延長 593路線、414.3km ・除雪体制 6契約、63台
- 降積雪量観測業務委託料 121,968 円  
・観測所 1箇所（荒島地区）
- 工事請負費 67,113,360 円  
・舗装修繕工事（交付金事業） 清水搔線舗装修繕工事外2件  
・道路維持修繕工事 栄町4号線道路修繕工事外31件
- 道路補修用材料費 5,958,788 円  
・自治会等への補修用材料の支給 57件
- 機械器具費 14,558,400 円  
・除雪車整備 2台（4t級履帯ドーザ、4t級ローダ）
- その他 18,096,678 円

						決算事項別明細書		P141		
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		土木建設課		
中事業	10	道路交通網の充実				予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	19	道路災害防除事業費					款	08	土木費	
事業開始年度		平成28年度					項	02	道路橋りょう費	
事業進捗度		-				目	02	道路維持費		
予 算 額		16,800,000 円				目的	市道法面の落石・土砂崩れ等の防止対策を 施し、交通の安全を確保する。			
決 算 額 A		16,479,814 円								
財 源 内 訳	国・県支出金	国6/10	6,794,280 円							
	地 方 債	合併	9,200,000 円							
	そ の 他		0 円							
	一 般 財 源		485,534 円							
人件費コスト B		0.5人役	3,698,500 円		総事業費 A+B		20,178,314 円			

【事業内容】

災害の未然防止を目的として法面の危険箇所について対策を施し、交通の安全と災害に強い道路ネットワークの整備を行った。

○工事請負費 11,323,800 円

工 事 名	工事概要	工期 (着工～実地完成)
・奥谷線災害防除(その2)工事	施工延長 L=17m 法面工 A=411㎡	H28. 5.24～ H28. 7.29
・面の子線災害防除工事	施工延長 L=60m 法面工 A=370㎡	H28. 11. 9～ H29. 1.27
・井尻福富線災害防除工事	施工延長 L=42m 法面工 A=359㎡	H28. 12. 15～ H29. 3.15

○測量・設計委託料 4,752,000 円

・宇波尻線災害防除測量設計業務

○事務費 404,014 円



竣工(井尻福富線)



竣工(面の子線)

【繰越明許】

決算事項別明細書				P141	
大事業	55	都市基盤・生活		担当部署	土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	19	道路災害防除事業費		款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度		項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		—		目	02 道路維持費
予 算 額		27,300,000 円		目的	市道法面の落石・土砂崩れ等の防止対策を 施し、交通の安全を確保する。
決 算 額 A		27,299,160 円			
財 源 内 訳	国・県支出金	国6/10	16,347,000 円		
	地 方 債	合併	10,300,000 円		
	そ の 他		0 円		
	一 般 財 源		652,160 円		
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B	27,299,160 円

【事業内容】

災害の未然防止を目的として法面の危険箇所について対策を施し、交通の安全と災害に強い道路ネットワークの整備を行った。

○工事請負費 27,299,160 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・奥谷線災害防除工事	施工延長 L=40m モルタル吹付工 A=1,102m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工 N=202本	H28. 3.25～ H28. 7.29



着手前



竣工

					決算事項別明細書		P143
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	22	一般市道改良費				款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-				目	03 道路新設改良費
予 算 額		100,000,000 円			目的	幹線道路への接続、交通渋滞の解消、付近の農業及び地場産業の活動を支援する道路網の整備により、機能的交通体系の形成を図る。	
決 算 額 A		98,033,268 円					
財源内訳	国・県支出金			0 円			
	地方債	合併外	63,200,000 円				
	その他	諸収入	8,100 円				
	一般財源	34,825,168 円					
人件費コスト B		1.6人役	11,835,200 円		総事業費 A+B	109,868,468 円	

【事業内容】

まちづくりの基盤となる交通アクセスの確立を目指し、市民生活に密着した道路整備を進めた。その中でも緊急性・重要性の高い路線を中心に工事や測量設計等を行い、地域の交通体系の諸問題解消に努めた。

○工事請負費 46,558,800 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・加茂1号線道路改良工事	L=32m	H28. 9.13～ H29. 3.17
・細井佐久保線道路改良工事	L=100m	H28. 6.22～ H28. 9.30
・細井佐久保線道路改良工事(2工区)	L=170m	H28. 7. 1～ H28. 8.30
・才ヶ峠線道路改良工事	L=10m	H28. 5.18～ H28. 7. 1
・論田町内線道路改良工事	L=30m	H28. 5.19～ H28. 9. 6
・国服鳥木線道路改良工事	L=40m	H28. 9.27～ H28.12.15
・国服鳥木線道路改良工事(その2)	L=45m	H28.11.10～ H29. 3.15
・国服鳥木線道路改良工事(その3)	L=25m	H28.11.30～ H29. 2.28
・国服鳥木線道路改良工事(その4)	L=120m	H29. 2. 2～ H29. 3.15
・栄町1号線道路改良工事	L=77m	H28.11. 5～ H29. 3.17
・荒島19号線道路改良工事	L=10m	H28.11.15～ H29. 3.17
・東十神17号線道路改良工事	L=20m	H28. 6.15～ H28.11.22
・須崎9号線道路改良工事	L=60m	H28. 4.28～ H28. 7.11
・才下10号線道路改良工事	L=46m	H28.11.11～ H29. 1.31
・才下10号線道路改良工事(その2)	L=59m	H29. 1.12～ H29. 3.10

○土地購入費 14,791,438 円

・細井佐久保線、吉佐町内線、才下10号線、菅谷線

○測量設計業務委託料 9,999,720 円

・実松2号線用地測量業務 外4件

○登記事務委託料 1,149,120 円

・細井佐久保線、吉佐町内線

○物件移転補償費 21,562,038 円

・建物移転 1件 ・電柱移転 1件 ・工作物移転等 5件

○事務費 3,972,152 円

成果指標	目標値	実績値	差引
道路改良延長 (km)	13	2	△ 11

※他の道路改良事業を含む

						決算事項別明細書		P141
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		都市政策課
中事業	10	道路交通網の充実				予算科目	会計	01 一般会計
小事業	25	県事業負担金費					款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度					項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-					目	03 道路新設改良費
予 算 額		12,969,000 円				目的	県が施行する事業に対して、費用負担をすることによって生活基盤の整備促進を図る。	
決 算 額 A		12,969,000 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	合併	12,200,000 円					
	その他	0 円						
	一般財源	769,000 円						
人件費コスト B		0.2人役	1,536,800 円		総事業費 A+B		14,505,800 円	

【事業内容】

平成28年度に県が施工する道路事業及び急傾斜地崩壊対策事業について、費用負担をすることによって生活基盤の改善を図った。

県事業負担金 決算額：12,969,000円

道路事業

・安来伯太日南線（日立坂） 130,000 円

急傾斜地崩壊対策事業

・目谷地区（宗松寺・旧広瀬幼稚園裏） 2,839,000 円

・本町地区（布部小学校裏）※県単 10,000,000 円



目谷地区急傾斜地崩壊対策事業（宗松寺・旧広瀬幼稚園裏）

					決算事項別明細書		P143
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	28	交通安全施設整備事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		—				目	03 道路新設改良費
予 算 額		10,000,000 円			目的	交通安全施設の新設・補修を行い、交通環境の整備と交通事故の発生防止に努める。	
決 算 額 A		9,872,280 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	9,872,280 円					
人件費コスト B		0.4人役	2,958,800 円		総事業費 A+B	12,831,080 円	

【事業内容】

カーブミラーや防護柵の設置等、交通安全施設の新設・補修を行い、交通環境の整備と交通事故の発生防止に努めた。

○工事請負費 9,872,280 円

・交通安全施設整備工事 12件

【工事概要】

- ・カーブミラー新設、修繕
- ・防護柵新設、修繕
- ・区画線新設、修繕
- ・道路照明灯修繕
- ・カラー舗装新設 等



防護柵新設（広瀬町西谷地内）



道路照明灯修繕（伯太町安田中地内）



カラー舗装新設（下坂田町地内）



カーブミラー新設（飯梨町地内）

決算事項別明細書						P143
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署	土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	31	沢吉岡線道路改良事業費				款 08 土木費
事業開始年度		平成15年度				項 02 道路橋りょう費
事業進捗度		100%				目 03 道路新設改良費
予 算 額		2,723,000 円			目的	住民生活の利便性の向上を図るとともに、安全な通学路を確保する。
決 算 額 A		2,617,040 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	過疎	2,600,000 円			
	その他	0 円				
	一般財源	17,040 円				
人件費コスト B		0.5人役	3,698,500 円	総事業費 A+B	6,315,540 円	

【事業内容】

本路線は、県道安来伯太日南線と県道米子広瀬線を結ぶ幹線道路である。沿線には安来二中があり、中学・高校への通学路としての役割も高く、整備の緊急性が高い事業である。また市南部から運動公園、安来道路への最短距離で結ぶ幹線道路であるため、防災上の観点からも整備を行った。

○工事請負費 994,680 円

工事名  
・ H28沢吉岡線道路改良工事

工事概要 工期（着工～実地完成）  
道路土工 1式 H29. 2. 15～H29. 3. 15  
道路付属物工 1式

○物件移転補償費 507,360 円  
・ 水道管移転 1 件

○県事業負担金費 1,115,000 円



着手前



竣工

【繰越明許】

決算事項別明細書

P143

大 事 業	55	都市基盤・生活			担当部署	土木建設課
中 事 業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計 01 一般会計
小 事 業	31	沢吉岡線道路改良事業費				款 08 土木費
事業開始年度		平成15年度				項 02 道路橋りょう費
事業進捗度		100%				目 03 道路新設改良費
予 算 額		58,034,000 円			目的	住民生活の利便性の向上を図るとともに、安全な通学路を確保する。
決 算 額 A		56,902,200 円				
財 源 内 訳	国・県支出金	国6/10	32,801,186 円			
	地 方 債	過疎	24,100,000 円			
	そ の 他		0 円			
	一 般 財 源		1,014 円			
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B	56,902,200 円

【事業内容】

本路線は、県道安来伯太日南線と県道米子広瀬線を結ぶ幹線道路である。沿線には安来二中があり、中学・高校への通学路としての役割も高く、整備の緊急性が高い事業である。また市南部から運動公園、安来道路への最短距離で結ぶ幹線道路であるため、防災上の観点からも整備を行っている。

○工事請負費	16,562,200 円	
工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・ 防災・安全交付金事業 沢吉岡線道路改良工事	道路改良延長 L=171m 舗装工 A=1642m <sup>2</sup>	H28. 1.13～ H29. 1.31
・ 沢吉岡線道路改良工事	道路土工 V=25m <sup>3</sup> 防護柵工 L=2m	H29. 1.23～ H29. 2.28

○県事業負担金費 40,340,000 円



着手前



竣工

						決算事項別明細書		P143	
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		土木建設課	
中事業	10	道路交通網の充実				予算科目	会計	01	一般会計
小事業	34	本町御笠線道路改良事業費					款	08	土木費
事業開始年度		平成25年度					項	02	道路橋りょう費
事業進捗度		85%					目	03	道路新設改良費
予 算 額		52,908,000 円				目的	対面交通が可能な道路整備により、交通の安全が図られるとともに、双方への往来に寄与する。		
決 算 額 A		41,809,039 円							
財源内訳	国・県支出金	国6/10	13,608,000 円						
	地方債	過疎	28,200,000 円						
	その他		0 円						
	一般財源		1,039 円						
人件費コスト B		0.7人役	5,177,900 円		総事業費 A+B		46,986,939 円		

【事業内容】

本路線は安来市伯太町母里地内にあり、本町地区と御笠地区を結ぶ市道である。沿線には避難場所にも指定されている、小学校、中学校、伯太体育館等の公共施設が集中しており、非常に重要な路線となっている。

しかし、現在の道路は幅員が3.5m～4.5mと狭いうえに、歩道もなく線形も悪く、離合困難な箇所も多く、利用しづらい道路である。また、大型車が通行する際には、歩行者、二輪車でも通行することが困難な状況で、非常に危険な状況にある道路であるため、幅員拡幅し、併せて線形改良を行っている。

○工事請負費 40,803,480 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・社会資本整備総合交付金事業 本町御笠線道路改良工事	改良延長 L=216.0m	H28. 6.14～ H29. 3.10
・社会資本整備総合交付金事業 本町御笠線道路改良工事(その2)	改良延長 L=110.0m	H28. 8.20～ H29. 3.10
・本町御笠線道路改良工事	改良延長 L=71.5m	H29. 2. 7～ H29. 3.10
・本町御笠線伯太青年研修センター 解体工事	建物解体工事 一式	H28.10. 5～ H28.12.16

○物件移転補償費 80,100 円

・補償物件 一式

○事務費 925,459 円

※翌年度繰越額 10,649,000円



竣工1



竣工2

				決算事項別明細書		P143
大事業	55	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	37	杉谷線道路改良事業費			款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度			項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		5%			目	03 道路新設改良費
予 算 額		13,000,000 円		目的	雲南方面や広瀬方面からのアクセス道路、また広瀬中学校へのスクールバス等での通学路であり、安全性の高い道路として整備を行う。	
決 算 額 A		12,968,640 円				
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	辺地	12,900,000 円			
	その他	0 円				
	一般財源	68,640 円				
人件費コスト B		0.5人役	3,698,500 円	総事業費 A+B	16,667,140 円	

【事業内容】

本路線は、国道432号線と主要地方道安来木次線を結ぶ一級市道であり、主要幹線道路に通じる唯一の生活道路である。未改良区間においては突角により視距が悪く、また、通学バスや冬季の除雪作業車等のすれ違う箇所が少なく、安全性の高い道路として整備が急がれる。  
奥田原地区までの2.6kmの内、5期区間の約0.88kmを計画的に改良を進めていくものである。

○測量委託料 12,968,640 円

業務名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・杉谷線測量調査設計業務	設計業務 L=880m 測量業務 L=880m	H28. 6. 22～H29. 3. 21

【業務箇所】



					決算事項別明細書		P143
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	40	中島津田平線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成25年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		45%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		71,475,000 円			目的	対面交通が可能な道路整備により、交通の安全が図られるとともに、双方への往来に寄与する。	
決 算 額 A		27,328,015 円					
財源内訳	国・県支出金	国1/2	12,204,000 円				
	地方債	過疎	15,100,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		24,015 円				
人件費コスト B		0.6人役	4,438,200 円		総事業費 A+B	31,766,215 円	

【事業内容】

本路線は、岩舟地区と市道津田平線を結ぶ路線であり、双方への往来に重要な路線であるが、幅員が狭く対面交差ができない区間が長くあり、安全性の高い道路として早急に整備する必要があり、幅員拡幅し、併せて線形改良を行っている。

○工事請負費	25,773,120 円		
工 事 名		工事概要	工期（着工～完了予定）
・道整備交付金事業		道路改良延長 L=660m	H28. 11. 25～H29. 6. 30
中島津田平線道路改良工事		法面工 A=2069m <sup>2</sup>	
・中島津田平線道路改良工事		道路改良延長 L=65m	工期（着工～実地完成）
		舗装工 A=176m <sup>2</sup>	H28. 9. 21～H28. 10. 12
○消耗品費	449,975 円		
○燃料費	500,000 円		
○通信運搬費	290,000 円		
○市道登記事務委託料費	74,520 円		
○器具費	240,400 円		
※翌年度繰越額	43,301,000 円		



施工状況（5月時点）



施工状況（5月時点）

【繰越明許】

【繰越明許】				決算事項別明細書			P143
大事業	55	都市基盤・生活		担当部署		土木建設課	
中事業	10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	40	中島津田平線道路改良事業費			款	08 土木費	
事業開始年度		平成25年度			項	02 道路橋りょう費	
事業進捗度		45%			目	03 道路新設改良費	
予 算 額		42,820,000 円		目的	対面交通が可能な道路整備により、交通の安全が図られるとともに、双方への往来に寄与する。		
決 算 額 A		42,794,160 円					
財源内訳	国・県支出金	国1/2	18,493,920 円				
	地方債	過疎	24,300,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		240 円				
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B	42,794,160 円		

【事業内容】

本路線は、岩舟地区と市道津田平線を結ぶ路線であり、双方への往来に重要な路線であるが、幅員が狭く対面交差ができない区間が長くあり、安全性の高い道路として早急に整備する必要があり、幅員拡幅し、併せて線形改良を行っている。

○工事請負費 42,776,640 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・道整備交付金事業 中島津田平線道路改良工事(その2)	道路改良延長 L=39.8m ボックスカルバート L=30.0m	H27. 12. 2～ H28. 6. 29
・道整備交付金事業 中島津田平線道路改良工事(その3)	道路土工 V=810m <sup>3</sup> 除草工 A=1800m <sup>2</sup>	H28. 6. 28～ H28. 10. 31
・中島津田平線道路改良工事(その4)	道路土工 V=1760m <sup>3</sup> 土砂運搬 V=2350m <sup>3</sup>	H28. 7. 8～ H28. 10. 31

○土地購入費 17,520 円

・雑種地 2.92 m<sup>2</sup>



【道整備交付金事業 中島津田平線道路改良工事（その2）】  
着手前 竣工

					決算事項別明細書		P143
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	43	下ノ原2号線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成25年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		85%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		41,100,000 円			目的	総合文化ホール建設地及び給食センター(ハッピークック)の外周道路を対面交通が可能な道路として整備する。	
決 算 額 A		39,894,737 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債	合併	37,900,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		1,994,737 円				
人件費コスト B		0.6人役	4,438,200 円		総事業費 A+B	44,332,937 円	

【事業内容】

安来市総合文化ホール(アルテピア)及び給食センター(ハッピークック)の外周道路とこれに接続する周辺道路について一体的に整備を行うものであり、市道北側道・西赤江安来線と切川バイパスを接続する道路として、下ノ原2号線及び下ノ原町内線・取付道路の整備を行っている。

○工事請負費 35,305,200 円

工事名	工事概要		工期(着工～実地完成)	
・ H28下ノ原2号線道路改良工事	道路改良延長	L= 200m	H28. 5. 3～	H28. 8. 31
・ H28下ノ原2号線道路改良工事(その2)	道路改良延長	L= 43m	H28. 5. 18～	H28. 6. 1
・ H28下ノ原2号線道路改良工事(その3)	道路改良延長	L= 200m	H28. 10. 18～	H29. 3. 17
・ H28下ノ原2号線道路改良工事(その4)	道路改良延長	L= 170m	H28. 12. 2～	H29. 3. 30

○測量調査設計業務委託料 3,726,000 円

・ 下ノ原2号線取付道路測量設計委託業務	測量設計業務	一式	H28. 10. 27～	H29. 2. 28
・ 下ノ原2号線取付道路用地測量委託業務	用地測量業務	一式	H28. 12. 29～	H29. 3. 24

○事務費 863,537 円



竣工



竣工

						決算事項別明細書		P145						
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		土木建設課						
中事業	10	道路交通網の充実				予算科目	会計	01 一般会計						
小事業	46	未明政線道路改良事業費					款	08 土木費						
事業開始年度		平成21年度					項	02 道路橋りょう費						
事業進捗度		30%					目	03 道路新設改良費						
予 算 額		9,000,000 円				目的	対面交通が可能な道路整備により、交通の安全が図られるとともに、双方への往来に寄与する。							
決 算 額 A		3,542,400 円												
財源内訳	国・県支出金	0 円												
	地方債	過疎	3,500,000 円											
	その他	0 円												
	一般財源	42,400 円												
人件費コスト B		0.5人役	3,698,500 円		総事業費 A+B		7,240,900 円							
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>本路線は、伯太町未明と門生町を結ぶ路線であるが、一部対面交差が出来ない区間があり、整備を行っている。</p> <p>○工事請負費 3,542,400 円</p> <table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="width:30%">工事名</td> <td style="width:30%">工事概要</td> <td style="width:40%">工期（着工～完了予定）</td> </tr> <tr> <td>・【※次年度繰越】 H28未明政線道路改良工事</td> <td>道路改良延長 L= 59m</td> <td>H29. 1. 17～ H29. 9. 29</td> </tr> </table> <p>※翌年度繰越額 5,457,000 円</p>									工事名	工事概要	工期（着工～完了予定）	・【※次年度繰越】 H28未明政線道路改良工事	道路改良延長 L= 59m	H29. 1. 17～ H29. 9. 29
工事名	工事概要	工期（着工～完了予定）												
・【※次年度繰越】 H28未明政線道路改良工事	道路改良延長 L= 59m	H29. 1. 17～ H29. 9. 29												

【繰越明許】

決算事項別明細書

P145

大事業	55	都市基盤・生活		担当部署	土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	46	未明政線道路改良事業費		款	08 土木費
事業開始年度		平成21年度		項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		30%		目	03 道路新設改良費
予 算 額		8,000,000 円		目的	対面交通が可能な道路整備により、交通の安全が図られるとともに、双方への往来に寄与する。
決 算 額 A		7,931,916 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	過疎	7,900,000 円		
	その他	0 円			
	一般財源	31,916 円			
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B	7,931,916 円

【事業内容】

本路線は、伯太町未明と門生町を結ぶ路線であるが、一部対面交差が出来ない区間があり、整備を行う。

- 工事請負費 5,497,200 円
 

工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・ 未明政線道路改良工事	道路改良延長 L= 22m	H28. 10. 1～ H29. 1. 31
・ 未明政線道路改良工事	道路改良延長 L= 227m	H28. 12. 15～ H29. 3. 21
- 土地購入費 684,357 円
  - ・ 土地購入 3 件
- 物件移転補償費 454,359 円
  - ・ 補償物件 2 件
- 市道登記委託事務委託料 1,296,000 円



竣工1



竣工2

					決算事項別明細書		P145
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	49	木戸川東線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成22年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		60%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		49,158,000 円			目的	県事業である木戸川総合防災流域事業に併せ、既設橋改修を行い河川断面を確保する。また堤防沿いの現道を対面交通が可能な道路とする。	
決 算 額 A		44,185,108 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債	合併	41,900,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		2,285,108 円				
人件費コスト B		0.7人役	5,177,900 円		総事業費 A+B	49,363,008 円	

【事業内容】

木戸川総合防災流域事業による河川改修工事との共同施行により、既設橋梁を洪水時の防災に対応した構造に改築し架け替える。併せて、堤防沿いの現道を市の道路改良事業により拡幅し、対面交通が可能な道路とする。

○工事請負費	6,999,480 円			
工 事 名		工事概要		工期（着工～実地完成）
・木戸川東線道路改良（補償）工事		補償工事 柵工	1式 L=18m	H28. 4. 27～ H28. 6. 28
・木戸川東線道路改良工事		道路改良延長 舗装工	L=142m A=71m <sup>2</sup>	H28. 6. 1～ H28. 8. 26
・木戸川東線道路改良工事（その2）		道路改良延長 水路工	L=53m L=52m	H29. 1. 20～ H29. 3. 21
・木戸川東線道路改良工事（その3）		構造物撤去工 道路照明移設	1式 N=1本	H29. 1. 18～ H29. 1. 20
○土地購入費	2,141,045 円			
・宅地	46.85 m <sup>2</sup>			
○物件移転補償費	4,972,583 円			
・電柱等移転	1 件			
・水道移転	1 件			
・立木補償	1 件			
○県事業負担金費	30,072,000 円			

					決算事項別明細書		P145
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	52	安来港飯島線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		5%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		92,800,000 円			目的	小中学校の通学路であるが、幅員が狭く歩道も未整備な箇所があるため、整備により児童生徒の通学時の安全を確保する。	
決 算 額 A		73,852,780 円					
財源内訳	国・県支出金	国6/10	38,465,280 円				
	地方債	合併	33,600,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		1,787,500 円				
人件費コスト B		1.0人役	7,397,000 円		総事業費 A+B	81,249,780 円	

【事業内容】

本路線は安来市内を東西に連絡する補助幹線道路である。当路線の沿道には小中学校があり通学路として多数の児童・生徒が利用しているため、整備により児童生徒の通学時の安全を確保する。また、切川バイパス等とともに市街地と市役所や安来市総合文化ホール（アルテピア）等主要施設を結ぶ幹線道路ネットワークとして整備を行っていく。

○測量調査設計業務委託料 71,522,800 円

工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・ 防災・安全交付金事業安来港飯島線 橋梁詳細設計業務	橋梁設計業務 一式	H28. 7. 29～ H29. 3. 15
・ 防災・安全交付金事業安来港飯島線 用地測量業務	用地測量業務 一式	H28. 7. 7～ H29. 3. 15
・ 【※次年度繰越】 安来港飯島線物件調査業務（東工区）	物件調査業務 一式	工期（着工～完了予定） H28. 8. 4～ H29. 8. 31
・ 【※次年度繰越】 安来港飯島線物件調査業務（西工区）	物件調査業務 一式	H28. 8. 5～ H29. 8. 31

○事務費 2,329,980 円

※翌年度繰越額 18,277,000 円

【繰越明許】

決算事項別明細書

P145

大 事 業	55	都市基盤・生活			担当部署	土木建設課
中 事 業	10	道路交通網の充実			予 算 科 目	会計 01 一般会計
小 事 業	52	安来港飯島線道路改良事業費				款 08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項 02 道路橋りょう費
事業進捗度		5%				目 03 道路新設改良費
予 算 額		21,350,000 円			目 的	小中学校の通学路であるが、幅員が狭く歩道も未整備な箇所があるため、整備により児童生徒の通学時の安全を確保する。
決 算 額 A		21,180,440 円				
財 源 内 訳	国・県支出金	国6/10	12,618,264 円			
	地 方 債	合併	8,100,000 円			
	そ の 他		0 円			
	一 般 財 源		462,176 円			
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B	21,180,440 円

【事業内容】

本路線は安来市内を東西に連絡する補助幹線道路である。当路線の沿道には小中学校があり通学路として多数の児童・生徒が利用しているため、整備により児童生徒の通学時の安全を確保する。また、切川バイパス等とともに市街地と市役所や安来市総合文化ホール（アルテピア）等主要施設を結ぶ幹線道路ネットワークとして整備を行っていく。

○測量調査設計業務委託料 21,030,440 円

工事名	工事概要	一式	工期（着工～実地完成）
・ 防災・安全交付金事業安来港飯島線 測量設計委託業務	測量設計業務	一式	H27. 12. 17～ H29. 2. 10
・ 防災・安全交付金事業安来港飯島線 地質調査・解析業務	調査・解析業務	一式	H27. 8. 25～ H29. 2. 10

○事務費 150,000 円

					決算事項別明細書		P145
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	55	山根1号線道路改良事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成21年度				項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		60%				目	03 道路新設改良費
予 算 額		86,000,000 円			目的	安来市と松江市を結ぶ重要路線であり、事故・災害時等の国道9号線の交通渋滞緩和を図る。	
決 算 額 A		36,586,000 円					
財源内訳	国・県支出金	国6/10	17,286,000 円				
	地方債	過疎	19,300,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		0 円				
人件費コスト B		0.6人役	4,438,200 円		総事業費 A+B	41,024,200 円	

【事業内容】

本路線は、県道広瀬荒島線と市道久白意東線を結ぶ路線である。また、広域的には安来市と松江市を結ぶ重要路線であり、国道9号線で事故・災害等により通行止めが生じた場合に、迂回路の機能を有する道路として整備を行っている。

○工事請負費	31,180,000 円		
工 事 名		工事概要	工期（着工～完了予定）
・ 防災・安全交付金事業		橋梁下部工 1式	H28.12.9～ H29.7.31
山根1号線道路改良工事		橋梁上部工 1式	
・ 山根1号線道路改良工事		仮設工 1式	H29.1.25～ H29.7.31
		矢板工 N=118枚	
・ 山根1号線道路改良工事（その2）		道路改良延長 L=85m	H29.3.25～ H29.5.31
		擁壁工 L=60m	
○調査委託料	466,560 円		
・ 山根1号線資材価格調査業務			
○土地購入費	3,256,682 円		
・ 田 548.00m <sup>3</sup>			
○物件移転補償費	6,264 円		
・ 立木補償 1件			
○消耗品費	443,273 円		
○燃料費	591,701 円		
○器具借上料費	641,520 円		
※翌年度繰越額	48,556,000 円		

						決算事項別明細書		P145						
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		土木建設課						
中事業	10	道路交通網の充実				予算科目	会計	01	一般会計					
小事業	56	黒鳥細井線道路改良事業費					款	08	土木費					
事業開始年度		平成28年度					項	02	道路橋りょう費					
事業進捗度		1%					目	03	道路新設改良費					
予 算 額		1,383,000 円				目的	住民生活の利便性の向上を図るとともに、市内道路の円滑な道路ネットワークを確保する。							
決 算 額 A		1,382,400 円												
財源内訳	国・県支出金	0 円												
	地方債	過疎	1,300,000 円											
	その他	0 円												
	一般財源	82,400 円												
人件費コスト B		0.6人役	4,438,200 円		総事業費 A+B		5,820,600 円							
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>本路線は安来市黒井田町地内にあり、黒鳥地区と細井地区を南北に連絡する市道である。市内道路の円滑なネットワークの一環として県道安来インター線(細井地区)と市道和田旧国道線を結ぶ重要な市道である。双方への往来に重要な路線であるが、幅員が狭いうえに線形も悪く対面交差が困難であることから安全性の高い道路として、整備を進めていく。</p> <p>○測量調査設計業務委託料 1,382,400 円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>工事概要</th> <th>工期（着工～実地完成）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 黒鳥細井線概略設計委託業務</td> <td>概略設計業務 一式</td> <td>H28. 6. 1～ H28.10.31</td> </tr> </tbody> </table>									工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）	・ 黒鳥細井線概略設計委託業務	概略設計業務 一式	H28. 6. 1～ H28.10.31
工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）												
・ 黒鳥細井線概略設計委託業務	概略設計業務 一式	H28. 6. 1～ H28.10.31												

						決算事項別明細書		P145
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実				予算科目	会計	01 一般会計
小事業	58	橋りょう維持費					款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度					項	02 道路橋りょう費
事業進捗度		-				目	04 橋りょう維持費	
予 算 額		100,878,000 円				目的	橋梁の点検・調査を実施し、修繕計画に基づく修繕費の平準化を計りつつ、老朽化した施設の維持・修繕等を行い橋梁の長寿命化を図る。	
決 算 額 A		78,724,840 円						
財源内訳	国・県支出金	国6/10	46,172,318 円					
	地方債	過疎外	14,200,000 円					
	その他		0 円					
一般財源		18,352,522 円						
人件費コスト B		1.1人役	8,136,700 円		総事業費 A+B		86,861,540 円	

【事業内容】

橋梁の点検・調査を実施し、修繕計画に基づく修繕費の平準化を計りつつ、老朽化した施設の維持・修繕等を行い、橋梁の安全性を確認するとともに長寿命化を図った。

○設計委託料 2,461,536 円

- ・島根県橋梁アセットマネジメントシステム維持管理業務 システム維持管理 1式
- ・橋梁修繕工事設計図書作成業務 橋梁補修設計 N=1橋
- ・橋梁修繕工事設計図書作成(その2)業務 橋梁補修設計 N=1橋

○道路橋りょう長寿命化点検調査委託料 41,221,472 円

- ・橋梁点検調査業務 点検調査 N=399橋
- ・島根県公共土木施設点検・診断技術支援業務 支援業務 1式
- ・高速道路跨道橋の点検等受託 点検調査 N=2橋

○工事請負費 33,900,712 円

- | 工事名             | 工事概要      | 工期(着工～実地完成)             |
|-----------------|-----------|-------------------------|
| ・千代富橋橋梁修繕工事     | 橋梁修繕 N=1橋 | H28. 10. 14～ H29. 2. 28 |
| ・千代富橋橋改修(その2)工事 | 橋梁修繕 N=1基 | H29. 1. 20～ H29. 4. 7   |
| ・中海橋付属物修繕工事     | 橋梁修繕 N=1橋 | H28. 11. 22～ H29. 1. 20 |

※翌年度繰越額 20,999,000 円

○システム運用負担金 1,141,120 円

					決算事項別明細書		P147
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		都市政策課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	61	都市計画総務費				款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度				項	04 都市計画費
事業進捗度		-				目	01 都市計画総務費
予 算 額		7,099,000 円			目的	健全で秩序ある都市の発展、適正な土地利用を図る。	
決 算 額 A		5,545,480 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	手数料外	11,100 円				
	一般財源	5,534,380 円					
人件費コスト B		2.0人役	14,794,000 円		総事業費 A+B	20,339,480 円	
【事業内容】					事業費		
報酬					51,200円		
・都市計画審議会委員報酬（1回開催）							
旅費					8,680円		
・都市計画審議会費用弁償							
・普通旅費							
委託料					1,760,400円		
・安来市都市計画図修正業務					（翌年度繰越額1,350,000円）		
・安来市都市計画総括図修正業務							
・新工業団地市街化区域編入資料作成業務（翌年度繰越）							
使用料及び賃借料					171,000円		
・サイン看板借地料							
工事請負費					961,200円		
・サイン計画施設補修工事							
負担金					593,000円		
・各種負担金							
補助金					2,000,000円		
・土地区画整理事業補助金							
補助内容：組合の設立から解散までに要する事務に係る経費（上限200万円）							
※和田南土地区画整理事業							
施行者：安来市和田南土地区画整理組合							
施工面積：10.7ヘクタール							
施工期間：平成28年6月～平成33年3月							
事業費：1,200,000千円							

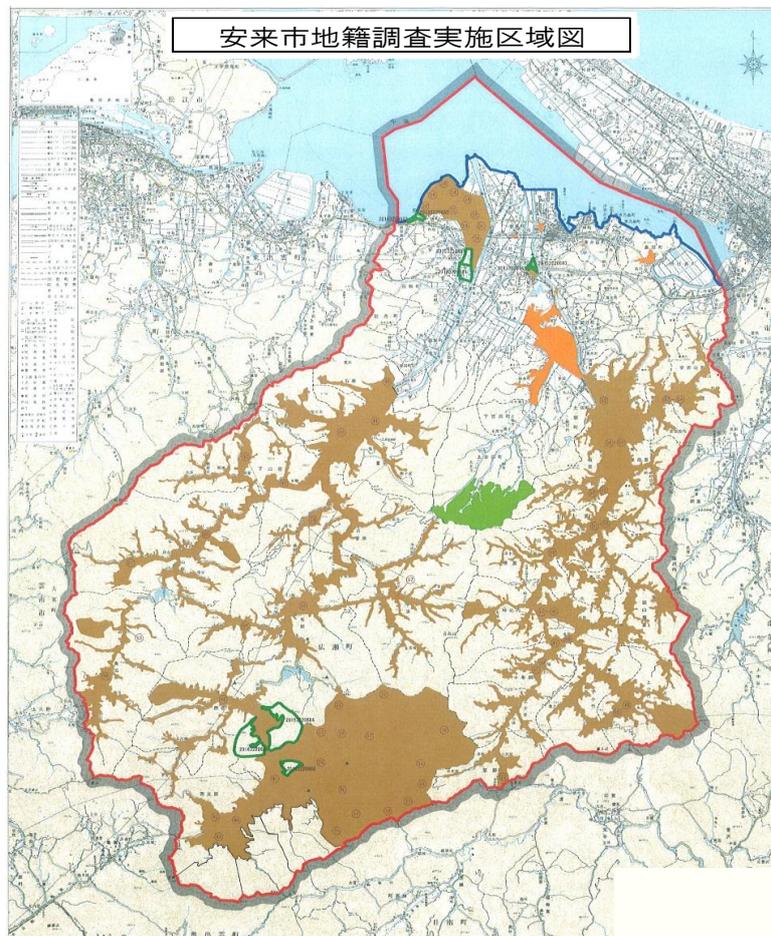
						決算事項別明細書		P147
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		都市政策課
中事業	10	道路交通網の充実				予算科目	会計	01 一般会計
小事業	64	国・県事業推進費					款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度					項	04 都市計画費
事業進捗度		-					目	01 都市計画総務費
予 算 額		3,182,000 円				目的	国・県事業の早期実施、完成による地域の発展と利便性の向上を図る。	
決 算 額 A		3,171,731 円						
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	0 円						
	一般財源	3,171,731 円						
人件費コスト B		1.7人役	13,062,800 円		総事業費 A+B		16,234,531 円	
【事業内容】						【事業費】		
普通旅費						326,000円		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路網整備関係機関協議 等</li> </ul>								
需用費						8,981円		
委託料						1,490,400円		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートIC設置検討資料作成業務</li> </ul>								
負担金						1,346,350円		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・斐伊川水系治水期成同盟会 ほか11団体</li> </ul>								

				決算事項別明細書		P151
大事業	55	都市基盤・生活		担当部署		都市政策課
中事業	10	道路交通網の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	67	地籍調査費			款	08 土木費
事業開始年度		昭和40年度			項	07 用地管理費
事業進捗度		23%			目	01 用地管理費
予 算 額		44,951,000 円		目的	土地の権利を明確化することにより、境界紛争や境界の不明確化を防ぐとともに、固定資産課税の適正化、公共事業の円滑化を図る。	
決 算 額 A		44,067,340 円				
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県1/4	31,350,000 円			
	地方債		0 円			
	その他	諸収入	7,080 円			
	一般財源		12,710,260 円			
人件費コスト B		2.3人役	17,013,100 円	総事業費 A+B	61,080,440 円	

【事業内容】

安来市の地籍調査は概ね現地調査着手から登記完了まで3年で行っており、1年目に現地調査を行い、2年目に成果である地籍簿・地籍図の作成、3年目に登記となっている。

安来市の地籍調査対象面積は387.07km<sup>2</sup>（公有水面等を除く）で、平成28年度末調査完了面積（2年目完了面積）は90.93km<sup>2</sup>（圃場整備等含む）、進捗率23.49%となった。



成果指標	目標値	実績値	差引
進捗率 (%)	23.49	23.49	0

					決算事項別明細書		P179
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		農林整備課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	70	農業用施設災害復旧費				款	11 災害復旧費
事業開始年度		平成28年度				項	01 農林水産業施設災害復
事業進捗度		-				目	01 農業用施設災害復旧費
予 算 額		27,928,000 円			目的	農業用施設災害の復旧を行う。	
決 算 額 A		26,427,060 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地 方 債		0 円				
	そ の 他	負担金	595,944 円				
	一 般 財 源		25,831,116 円				
人件費コスト B		0.8人役	5,917,600 円		総事業費 A+B	32,344,660 円	

【事業内容】

風水害などにより被災した農業用施設の復旧工事を行った。

本年度は、補助災の採択要件を超える雨量は無かったものの頻繁に発生する台風などの影響もあり農業用施設（農道・用排水路など）が被災し耕作に支障をきたしたため単独事業により応急的に復旧を行った。

○機械借上料

499,500 円

○工事費

25,927,560 円



黒田水路災害応急工事



追神水路災害応急工事



日次農道災害応急工事



中口水路災害応急工事

決算事項別明細書						P179	
大事業	55	都市基盤・生活		担当部署	農林整備課		
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	73	林道災害復旧費		款	11	災害復旧費	
事業開始年度		平成28年度		項	01	農林水産業施設災害復	
事業進捗度		—		目	02	林業施設災害復旧費	
予 算 額		6,049,000 円		目的	林道災害の復旧を行う。		
決 算 額 A		495,720 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	495,720 円					
人件費コスト B		0.2人役	1,479,400 円	総事業費 A+B	1,975,120 円		

【事業内容】

風水害により通行に支障をきたしたため倒木及び水路土砂撤去作業を行った。

○機械借上料

495,720 円



廻谷中谷線土砂撤去

					決算事項別明細書		P179
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	10	道路交通網の充実			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	82	道路橋りょう災害復旧費				款	11 災害復旧費
事業開始年度		平成28年度				項	02 公共土木施設災害復旧
事業進捗度		—				目	01 道路橋りょう災害復旧
予 算 額		45,000,000 円			目的	豪雨・台風・高潮等の自然災害による不測の被害に対して、被災箇所を復旧することによって被害の拡大を防ぎ、市民生活の安全を確保する。	
決 算 額 A		26,690,820 円					
財源内訳	国・県支出金	国2/3	6,141,000 円				
	地方債	災害復旧	3,000,000 円				
	その他		0 円				
	一般財源		17,549,820 円				
人件費コスト B		1.1人役	8,136,700 円	総事業費 A+B	34,827,520 円		

【事業内容】

豪雨・台風・高潮等の自然災害による不測の被害に対して、被災箇所を復旧することによって被害の拡大を防ぎ、市民生活の安全を確保する。  
 本年度は、補助災の採択要件を超える雨量の影響もあり公共土木施設（道路・河川・橋梁）への被害が生じたため補助事業及び単独事業により復旧した。

○工事請負費 25,285,920 円

- ・補助災
  - 道路 1 件
- ・単独災
  - 河川 1 件
  - 道路 12 件

○測量調査設計業務委託料 1,393,200 円

- ・豪雨災害測量設計委託業務

○事務費 11,700 円

※翌年度繰越額 15,541,000円



補助災害 大平線道路災害復旧工事着手前



補助災害 大平線道路災害復旧工事竣工

					決算事項別明細書		P123
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		市民課
中事業	20	住環境の整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	火葬場費				款	04 衛生費
事業開始年度		平成28年度				項	01 保健衛生費
事業進捗度		-				目	04 火葬場費
予 算 額		27,335,000 円			目的	安来市斎場独松山霊苑での火葬等（死体、改葬遺骨、胎盤肢体等）を必要とする住民等に対し、公衆衛生、公共の福祉の見地から、火葬業務の委託及び施設の管理を行う。	
決 算 額 A		26,933,946 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	使用料外	14,859,137 円				
	一般財源	12,074,809 円					
人件費コスト B		0.3人役	2,219,100 円		総事業費 A+B	29,153,046 円	

【事業内容】

火葬業務の委託及び火葬施設・式場施設及びその附属施設等の管理運営を行った。  
 施設の管理においては、定期的な清掃・検査に加え、火葬炉耐火物積替による火葬炉設備の修繕等を行い施設の整備安全管理に努めた。

- 平成28年度斎場使用状況
  - ・火葬件数 601件〔死体（胎）592件、胎盤肢体等の焼却8件、改葬1件〕
  - ・施設使用件数 3件

○ 事業費内訳

節	平成28年度決算額
賃金	62,000 円
需用費	6,080,767 円
役務費	364,087 円
委託料	11,900,012 円
使用料及び賃借料	49,080 円
工事請負費	8,478,000 円
計	26,933,946 円

○ 平成28年度火葬業務委託契約について

契約年月日 平成28年3月22日  
 委託期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日  
 委託金額 年額 10,147,680円 総額 30,443,040円  
 相手方 株式会社 島根東亜建物管理

				決算事項別明細書			P147
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		都市政策課
中事業	20	住環境の整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	15	住宅団地促進費				款	08 土木費
事業開始年度		平成12年度				項	04 都市計画費
事業進捗度		-				目	01 都市計画総務費
予 算 額		70,687,000 円			目的	分譲期間中、各種イベント・宣伝広告の実施及び環境整備などを行うことによって分譲促進を図る。	
決 算 額 A		70,654,256 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地 方 債		0 円				
	そ の 他		36,144 円				
	一 般 財 源		70,618,112 円				
人件費コスト B		2.1人役	15,533,700 円		総事業費 A+B	86,187,956 円	

【事業内容】

分譲促進のため、チラシ等による宣伝広告、分譲地の環境整備・維持管理を行った。  
 分譲価格抑制のため、安来市土地開発公社に対し、協定に基づく利子補給・減収補てんを行った。  
 住宅祭2016を開催し、分譲促進に努めた。

- 維持管理費 3,625,765 円
- 汐彩住宅団地分譲負担金（安来市土地開発公社） 23,000,000 円
- 事業資金借入金支払利子補給（安来市土地開発公社） 787,559 円
- 分譲価格改定に伴う減収補てん（安来市土地開発公社） 36,240,932 円
- 住宅祭負担金 7,000,000 円

成果指標	目標値	実績値	差引
分譲区画数	20	12	△ 8

○ハーモニータウン汐彩住宅祭2016

会期：9月3日（土）～11日（日）  
 展示：12社・6棟  
 来場者数：約2,500人



TVコマーシャル



会場の様子

○ハーモニータウン汐彩分譲の状況（年度別）

年度	件数	面積 (㎡)	金額 (円)	年度	件数	面積 (㎡)	金額 (円)
H12	59	16,271.15	711,923,000	H21	3	744.61	27,207,960
H13	10	2,545.72	114,293,000	H22	2	517.27	20,879,300
H14	9	2,416.79	96,667,000	H23	0	0.00	0
H15	8	2,326.05	103,742,000	H24	0	0.00	0
H16	10	2,607.33	117,816,000	H25	6	1,581.94	70,229,700
H17	19	4,424.68	160,519,000	H26	20	5,049.91	221,379,000
H18	12	3,303.62	118,075,000	H27	1	221.87	10,845,300
H19	4	1,011.87	44,437,000	H28	12	3,180.91	143,691,000
H20	8	2,188.62	79,203,350	計	183	48,392.34	2,040,907,610

未分譲区画

区画	面積 (㎡)	金額 (円)
46	13,087.20	557,797,000

				決算事項別明細書		P149
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署	建築住宅課
中事業	20	住環境の整備			予算科目	会計 01 一般会計
小事業	20	住宅管理費				款 08 土木費
事業開始年度		平成28年度				項 06 住宅費
事業進捗度		-			目 01 住宅管理費	
予 算 額		53,575,000 円			目的	社会経済情勢の変化により多様化・増加する住宅困窮者に対する住宅セーフティネットとしての役割を担うため公営住宅を柱とし、所得層やニーズに応じた各種の市営住宅を供給し維持管理や環境整備を適正に行い、入居者の快適な住環境を確保する。
決 算 額 A		53,277,503 円				
財源内訳	国・県支出金	国	724,000 円			
	地方債		0 円			
	その他	使用料外	14,120,058 円			
	一般財源		38,433,445 円			
人件費コスト B	3.1人役	22,930,700 円		総事業費 A+B	76,208,203 円	

市営住宅667戸（公営住宅485戸、特公賃住宅38戸、改良住宅40戸、単独住宅10戸、公社住宅94戸）の管理運営を島根県住宅供給公社安来住宅管理事務所に委託を行い、入居者及び入居希望者の利便性の向上を図るとともに、住宅使用料115,468千円、駐車場使用料7,224千円を財源とし、老朽化とともに発生する修繕工事関係に9,512千円を支出し、使用料等の趣旨に沿って有効な歳出を図り、滞納者問題も含めて家賃徴収に力を注いだ。

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【住宅修繕事業】	9,512,640円	724,000円	0円	0円	8,788,640円

○主な維持修繕工事費

- ・臼井団地公共下水道接続工事 2,160,000 円
- ・和田団地水道リモーター交換工事（桜・杉・竹棟） 2,052,000 円
- ・安田団地A棟屋根防水工事 1,598,400 円

【市営住宅管理代行及び業務委託事業】	35,558,000円	0円	0円	13,356,000円	22,202,000円
--------------------	-------------	----	----	-------------	-------------

- ・滞納者への指導、徴収を強化し更に現年分完納に向け家賃収納に力を注ぎ、成果を上げた。

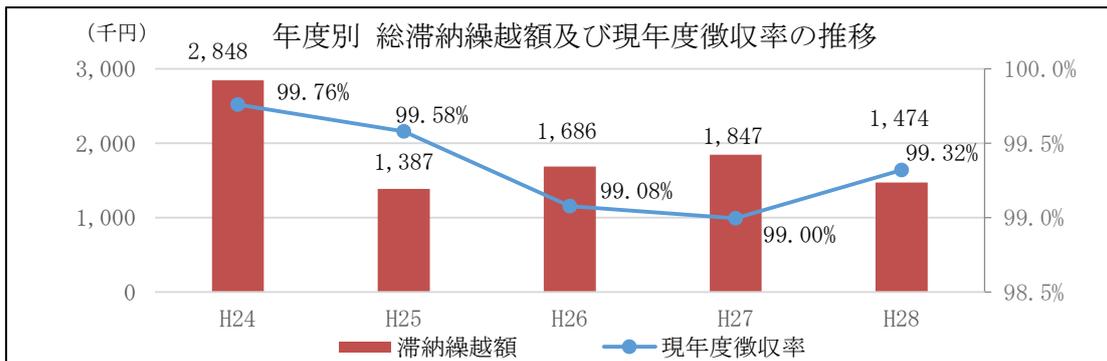
成果指標	目標値	実績値	差引
総滞納繰越額（円）	1,100千円以下	1,473,880	373,880
現年度徴収率	99%以上	99.32%	-

○住宅使用料

区分	調定金額	収入金額	徴収率	対前年度比
現年度分	116,259,900 円	115,468,510 円	99.32%	0.32%
過年度分	1,846,568 円	1,029,640 円	55.76%	△5.75%
合計	118,106,468 円	116,498,150 円	98.64%	0.17%

○駐車場使用料

区分	調定金額	収入金額	徴収率	現年度分合計徴収率
現年度分	7,224,230 円	7,224,230 円	100.00%	99.36%



【住宅管理事業】	8,206,863円	0円	0円	764,058円	7,442,805円
----------	------------	----	----	----------	------------

市営住宅の円滑な維持管理や入退去管理等を行い、居住の安定と定住の促進を図った。

				決算事項別明細書			P149																																																																																												
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		建築住宅課																																																																																												
中事業	20	住環境の整備			予算科目	会計	01 一般会計																																																																																												
小事業	25	建築指導費				款	08 土木費																																																																																												
事業開始年度		平成28年度				項	06 住宅費																																																																																												
事業進捗度		-			目	01 住宅管理費																																																																																													
予 算 額		9,148,000 円			目的	適切な指導と監督を行うことにより、安来市の建築行政の健全な発展と秩序ある住環境に務める。建築物の耐震化の促進、老朽化による倒壊等危険性のある空き家の対策を行い安全安心なまちづくりを推進する。																																																																																													
決 算 額 A		8,056,129 円																																																																																																	
財 源 内 訳	国・県支出金	国1/2 県1/4	2,762,000 円																																																																																																
	地 方 債		0 円																																																																																																
	そ の 他	手数料	829,470 円																																																																																																
一般財源		4,464,659 円																																																																																																	
人件費コスト B		3.9人役	28,848,300 円		総事業費 A+B	36,904,429 円																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【建築確認事務等】</td> <td>2,794,129円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>829,470円</td> <td>1,964,659円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>特定行政庁権限による適切な指導、監督及び事務を行い、安来市の建築行政の健全な発展と秩序ある良好な住環境の形成、安全安心なまちづくりの推進により、市民サービスの向上を図った。</p> </td> </tr> <tr> <td>【木造住宅耐震化等促進事業】</td> <td>180,000円</td> <td>121,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>59,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>安来市の既存木造住宅の耐震化等を促進するため、各種制度要綱に基づいた支援事業を実施した。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>〔木造住宅耐震診断〕</p> <p>木造住宅（着工昭和56年5月31日以前、階数2階以下）の耐震診断費用の一部を助成。  ・耐震診断に要する費用の10分の9〔上限6万円〕 [3件]</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>〔木造住宅耐震化〕</p> <p>木造住宅の耐震診断を行い耐震性が低い（上部構造評点が1.0未満）と判定された木造住宅の耐震化に要する費用の一部を助成。〔0件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震補強設計に要する費用の3分の2〔上限40万円〕</li> <li>耐震改修工事に要する費用(33,500円/㎡を限度)の23%の3分の2〔上限82.2万円〕</li> <li>耐震改修工事と併せて行う住宅修繕工事に要する費用の1/5〔上限80万円〕</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震診断及び耐震改修の助成を行う木造住宅の件数</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>△10</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>【老朽危険建築物等除却助成事業】</td> <td>1,086,000円</td> <td>643,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>443,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>老朽化による倒壊等危険性のある建築物の除却及び耐震化率の向上により、居住環境及び安全性の向上を図り安全安心なまちづくりを推進するため、制度要綱に基づいた支援事業を実施した。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>〔旧耐震建築物解体助成〕</p> <p>木造住宅（昭和56年5月31日以前に着工、階数2階以下）の耐震診断を行い上部構造評点が1.0未満と判定された住宅の解体工事を行う者に対し助成。  ・解体工事に要する費用の23%〔上限40万円〕 [1件]</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>〔不良住宅空き家等除却助成〕</p> <p>不良住宅及び跡地を地域活性化のために供される空き家住宅及び空き建築物の除却工事を行うものに対し助成。  ・解体工事に要する費用又は25,000円/㎡のいずれか少ない額の4/5〔上限100万円〕 [1件]</p> </td> </tr> <tr> <td>【耐震改修促進計画改定委託業務】</td> <td>3,996,000円</td> <td>1,998,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,998,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>平成21年に策定した『安来市建築物耐震改修促進計画』を改定。  「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正（H25年）に対応するとともに、県計画改定（H28年度）や関連計画等との整合性を図るため、ゆれやすさマップの及び計画内容の見直しを行い新たに平成38年度までを計画期間とした「安来市耐震改修促進計画」を策定した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【建築確認事務等】	2,794,129円	0円	0円	829,470円	1,964,659円	<p>特定行政庁権限による適切な指導、監督及び事務を行い、安来市の建築行政の健全な発展と秩序ある良好な住環境の形成、安全安心なまちづくりの推進により、市民サービスの向上を図った。</p>						【木造住宅耐震化等促進事業】	180,000円	121,000円	0円	0円	59,000円	<p>安来市の既存木造住宅の耐震化等を促進するため、各種制度要綱に基づいた支援事業を実施した。</p>						<p>〔木造住宅耐震診断〕</p> <p>木造住宅（着工昭和56年5月31日以前、階数2階以下）の耐震診断費用の一部を助成。  ・耐震診断に要する費用の10分の9〔上限6万円〕 [3件]</p>						<p>〔木造住宅耐震化〕</p> <p>木造住宅の耐震診断を行い耐震性が低い（上部構造評点が1.0未満）と判定された木造住宅の耐震化に要する費用の一部を助成。〔0件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震補強設計に要する費用の3分の2〔上限40万円〕</li> <li>耐震改修工事に要する費用(33,500円/㎡を限度)の23%の3分の2〔上限82.2万円〕</li> <li>耐震改修工事と併せて行う住宅修繕工事に要する費用の1/5〔上限80万円〕</li> </ul>						<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震診断及び耐震改修の助成を行う木造住宅の件数</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>△10</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	目標値	実績値	差引	耐震診断及び耐震改修の助成を行う木造住宅の件数	13	3	△10	【老朽危険建築物等除却助成事業】	1,086,000円	643,000円	0円	0円	443,000円	<p>老朽化による倒壊等危険性のある建築物の除却及び耐震化率の向上により、居住環境及び安全性の向上を図り安全安心なまちづくりを推進するため、制度要綱に基づいた支援事業を実施した。</p>						<p>〔旧耐震建築物解体助成〕</p> <p>木造住宅（昭和56年5月31日以前に着工、階数2階以下）の耐震診断を行い上部構造評点が1.0未満と判定された住宅の解体工事を行う者に対し助成。  ・解体工事に要する費用の23%〔上限40万円〕 [1件]</p>						<p>〔不良住宅空き家等除却助成〕</p> <p>不良住宅及び跡地を地域活性化のために供される空き家住宅及び空き建築物の除却工事を行うものに対し助成。  ・解体工事に要する費用又は25,000円/㎡のいずれか少ない額の4/5〔上限100万円〕 [1件]</p>						【耐震改修促進計画改定委託業務】	3,996,000円	1,998,000円	0円	0円	1,998,000円	<p>平成21年に策定した『安来市建築物耐震改修促進計画』を改定。  「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正（H25年）に対応するとともに、県計画改定（H28年度）や関連計画等との整合性を図るため、ゆれやすさマップの及び計画内容の見直しを行い新たに平成38年度までを計画期間とした「安来市耐震改修促進計画」を策定した。</p>					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																														
【建築確認事務等】	2,794,129円	0円	0円	829,470円	1,964,659円																																																																																														
<p>特定行政庁権限による適切な指導、監督及び事務を行い、安来市の建築行政の健全な発展と秩序ある良好な住環境の形成、安全安心なまちづくりの推進により、市民サービスの向上を図った。</p>																																																																																																			
【木造住宅耐震化等促進事業】	180,000円	121,000円	0円	0円	59,000円																																																																																														
<p>安来市の既存木造住宅の耐震化等を促進するため、各種制度要綱に基づいた支援事業を実施した。</p>																																																																																																			
<p>〔木造住宅耐震診断〕</p> <p>木造住宅（着工昭和56年5月31日以前、階数2階以下）の耐震診断費用の一部を助成。  ・耐震診断に要する費用の10分の9〔上限6万円〕 [3件]</p>																																																																																																			
<p>〔木造住宅耐震化〕</p> <p>木造住宅の耐震診断を行い耐震性が低い（上部構造評点が1.0未満）と判定された木造住宅の耐震化に要する費用の一部を助成。〔0件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震補強設計に要する費用の3分の2〔上限40万円〕</li> <li>耐震改修工事に要する費用(33,500円/㎡を限度)の23%の3分の2〔上限82.2万円〕</li> <li>耐震改修工事と併せて行う住宅修繕工事に要する費用の1/5〔上限80万円〕</li> </ul>																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震診断及び耐震改修の助成を行う木造住宅の件数</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>△10</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	目標値	実績値	差引	耐震診断及び耐震改修の助成を行う木造住宅の件数	13	3	△10																																																																																						
成果指標	目標値	実績値	差引																																																																																																
耐震診断及び耐震改修の助成を行う木造住宅の件数	13	3	△10																																																																																																
【老朽危険建築物等除却助成事業】	1,086,000円	643,000円	0円	0円	443,000円																																																																																														
<p>老朽化による倒壊等危険性のある建築物の除却及び耐震化率の向上により、居住環境及び安全性の向上を図り安全安心なまちづくりを推進するため、制度要綱に基づいた支援事業を実施した。</p>																																																																																																			
<p>〔旧耐震建築物解体助成〕</p> <p>木造住宅（昭和56年5月31日以前に着工、階数2階以下）の耐震診断を行い上部構造評点が1.0未満と判定された住宅の解体工事を行う者に対し助成。  ・解体工事に要する費用の23%〔上限40万円〕 [1件]</p>																																																																																																			
<p>〔不良住宅空き家等除却助成〕</p> <p>不良住宅及び跡地を地域活性化のために供される空き家住宅及び空き建築物の除却工事を行うものに対し助成。  ・解体工事に要する費用又は25,000円/㎡のいずれか少ない額の4/5〔上限100万円〕 [1件]</p>																																																																																																			
【耐震改修促進計画改定委託業務】	3,996,000円	1,998,000円	0円	0円	1,998,000円																																																																																														
<p>平成21年に策定した『安来市建築物耐震改修促進計画』を改定。  「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正（H25年）に対応するとともに、県計画改定（H28年度）や関連計画等との整合性を図るため、ゆれやすさマップの及び計画内容の見直しを行い新たに平成38年度までを計画期間とした「安来市耐震改修促進計画」を策定した。</p>																																																																																																			

					決算事項別明細書		P149
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		建築住宅課
中事業	20	住環境の整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	27	賃貸住宅助成事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度				項	06 住宅費
事業進捗度		-				目	01 住宅管理費
予 算 額		50,443,000 円			目的	安来市における人口減少に歯止めをかけるため、民間活力による良質な賃貸住宅の供給拡大を図り、良好な居住環境を提供することで定住の促進及び中心市街地におけるまちなか居住の推進を図り、併せて地域の活性化に寄与する。	
決 算 額 A		46,012,000 円					
財源内訳	国・県支出金	県1/5	39,012,000 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		7,000,000 円				
人件費コスト B		0.7人役	5,177,900 円		総事業費 A+B	51,189,900 円	

【事業内容】

しまね定住推進住宅整備支援事業（新規事業）補助金を活用し民間賃貸住宅の供給を図り、家族向け住居、UIターン者、県内に定着した若者、移住者への住まい確保を行うことで、出生率の向上や定着、回帰、流入を目的として人口の増加を図った。

- ・安来市内（大市場：8戸、新町：6戸）に、計14戸の賃貸住宅を建設した。

成果指標	目標値	実績値	差引
整備戸数（戸）	30	14	△ 16



【事業者1】 6戸



【事業者2】 8戸

				決算事項別明細書		P151	
大事業	55	都市基盤・生活		担当部署		建築住宅課	
中事業	20	住環境の整備	予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	30	公営住宅整備事業費		款	08	土木費	
事業開始年度		平成28年度		項	06	住宅費	
事業進捗度		—	目	02	住宅建設費		
予 算 額					629,000 円	目的 高齢化及び人口減少社会に備え、市営住宅の適切な配置整備を行う。	
決 算 額 A					411,218 円		
財源内訳	国・県支出金				0 円		
	地方債				0 円		
	その他				0 円		
	一般財源				411,218 円		
人件費コスト B		0.2人役			1,479,400 円	総事業費 A+B	1,890,618 円

【事業内容】

平成26年度に見直しを行った第二次安来市公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存及び将来の公営住宅等の整備に係る事業を行った。島根県住宅供給公社「安来住宅管理事務所」への業務委託に伴い、新しい入居案内の作成を実施した。

□ 入居までの流れ

市営住宅へ入居を希望される方は、入居希望者として、入居者名や希望住宅等の登録を行います。その後希望住宅に空きが出た場合、登録順に斡旋を行います。

1. 入居登録

- 登録を行う前に、入居者の必要要件と希望する住宅の各入居要件を、必ずご確認ください。
- 「市営住宅入居登録書」を提出して下さい
  - 添付書類 ・ 所得が確認できるもの（源泉徴収票、所得証明書等）
  - 障害者手帳の写しなど

○

- 登録後
- 年に1
- 住宅の斡旋
- 入居可(注)登
- 入居の
- 入居を
- 入居時
- 入居月

人が集い 未来を拓く  
ものづくりと文化のまち



□ 優先入

次の要件の  
あります (印)

- ① 中学3
- ② 高校生
- ③ 20歳未満
- ④ 配偶者
- ⑤ 海外引
- ⑥ 炭鉱離
- ⑦ 入居者
- ⑧ 身体障
- ⑨ 交付者
- ⑩ 指定種
- ⑪ ハンセ
- ⑫ 戦傷病
- ⑬ 原子爆
- ⑭ 生活保



建設：平成16年度  
構造：RC造2階建  
間取：2LDK (DK・和室・和室) …… 8 戸  
3DK (DK・洋室・和室・和室) …… 4 戸  
3LDK (DK・洋室・和室・和室) …… 6 戸  
設備：LPG、テレビ受信施設  
駐車場1台 (月額1,740円/台)  
校区：社日小学校、第一中学校



建設：平成12・13年度  
構造：RC造4階建  
間取：2LDK (DK・和室・和室) …… 10 戸  
2LDK (DK・洋室・洋室)身障専用 …… 1 戸  
3DK (DK・洋室・和室・和室) …… 11 戸  
3LDK (DK・洋室・洋室・和室) …… 13 戸  
3LDK (DK・洋室・洋室・和室)2/3洋室 …… 5 戸  
設備：LPG、テレビ受信施設  
駐車場1台 (月額1,740円/台)  
校区：赤江小学校、第一中学校

【やすぎ市営住宅 入居案内&住宅紹介】

# やすぎ市営住宅

**公営住宅**

白井園地	18 戸	石原町緑園地	20 戸
内代園地	40 戸	栄町住宅	12 戸
柳園地	30 戸		
札園地	30 戸	安田園地	35 戸
和田園地	60 戸	御崎園地	30 戸

**特定公共賃貸住宅**

汐影園地	15 戸	安田園地	15 戸
		城山園地	8 戸

**公社賃貸住宅**

汐影ハイツ	16 戸	石原住宅	24 戸
ハイツMISAKI	8 戸	栄町ハイツ	46 戸

## 入居案内 & 住宅紹介

**安来市 建設部 建築住宅課**      **島根県住宅供給公社(管理委託者)**  
**安来住宅管理事務所**  
 島根県安来市泊太町東母屋500 (泊太庁舎1階)      島根県安来市広瀬町広瀬700 (広瀬庁舎1階)  
 TEL:0854-23-3315 FAX:0854-23-3381      TEL:0854-32-9020 FAX:0854-32-2075

				決算事項別明細書		P151
大事業	55	都市基盤・生活		担当部署		建築住宅課
中事業	20	住環境の整備		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	35	公営住宅等ストック総合改善事業費			款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度			項	06 住宅費
事業進捗度		-			目	02 住宅建設費
予 算 額		79,056,000 円		目的	平成26年度に策定した第二次安来市公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化の進む公営住宅等ストックについて順次改善工事を行い、効率的に長寿命化を図っていく。	
決 算 額 A		79,056,000 円				
財源内訳	国・県支出金	国1/2	39,526,000 円			
	地方債	公営住宅	39,500,000 円			
	その他		0 円			
	一般財源		30,000 円			
人件費コスト B		0.8人役	5,917,600 円	総事業費 A+B	84,973,600 円	

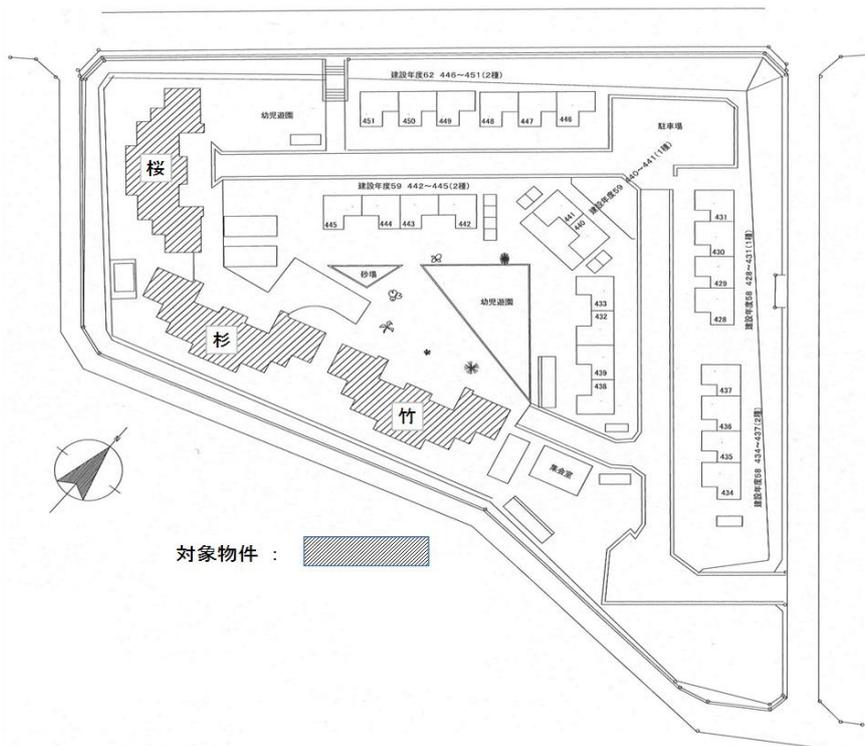
【事業内容】

平成26年度に見直しを行った第二次安来市公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存市営住宅ストックをより効率的かつ長期的に活用するため、老朽化の進む既存市営住宅の改善工事を行い優良住宅形成に努める。

平成28年度は、和田団地（中層）の外部耐久性向上工事（耐候性塗装）、屋内環境向上の24時間換気設備の設置を行った。

（社会資本整備総合交付金対象事業：交付率≒50%）

成果指標	目標値	実績値	差引
公営住宅の一定のバリアフリー整備率（5年間の累計）（%）	0	0	0



				決算事項別明細書			P147
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	30	公園・緑地の整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	中海ふれあい公園整備事業費				款	08 土木費
事業開始年度		平成27年度				項	04 都市計画費
事業進捗度		70%				目	01 都市計画総務費
予 算 額		214,075,000 円			目的	新たな公園の整備を行い、市民の交流の場と憩いのスペースを創設すると共に、レクリエーションやスポーツ利用の推進を図る。	
決 算 額 A		192,701,193 円					
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債	合併	177,400,000 円				
	その他	基金	14,000,000 円				
	一般財源		1,301,193 円				
人件費コスト B		1.6人役	11,835,200 円		総事業費 A+B	204,536,393 円	

【事業内容】

島根県の所有地であった（仮称）中海ふれあい公園について、平成27年度に財産の売渡を受け、安来市の新たな公園施設として整備を行うものである。（面積：北工区約21ha、南工区約10ha）  
**【事業期間：平成27年度～平成30年度】**

○工事請負費 165,418,960 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・（仮称）中海ふれあい公園整備工事	敷地造成4.6ha、水路工、給排水設備等	H28. 7. 5～ H29. 1. 10
・（仮称）中海ふれあい公園浄化槽設置工事	浄化槽設置1基	H28. 9. 13～ H29. 3. 17
・（仮称）中海ふれあい公園公衆トイレ新設工事（建築）	公衆トイレ新設2棟（建築）	H28. 11. 29～ H29. 3. 24
・（仮称）中海ふれあい公園公衆トイレ新設工事（機械）	公衆トイレ新設2棟（機械）	H28. 11. 29～ H29. 3. 24
・（仮称）中海ふれあい公園公衆トイレ新設工事（電気）	公衆トイレ新設2棟（電気）	H28. 11. 29～ H29. 3. 24
・（仮称）中海ふれあい公園整備工事（その2）	敷地造成0.5ha、水路工、園路工	H29. 1. 24～ H29. 5. 31

○原材料費 18,900,000 円

- ・（仮称）中海ふれあい公園整備資材購入（真砂土購入）

○測量・設計等委託料 5,452,920 円

- ・公衆トイレ設計業務委託
- ・植栽等維持管理業務委託（3件）

○事務費等 2,929,313 円

- ・中海干拓地特別賦課金 ほか



※翌年度繰越額 20,681,000 円

【繰越明許】

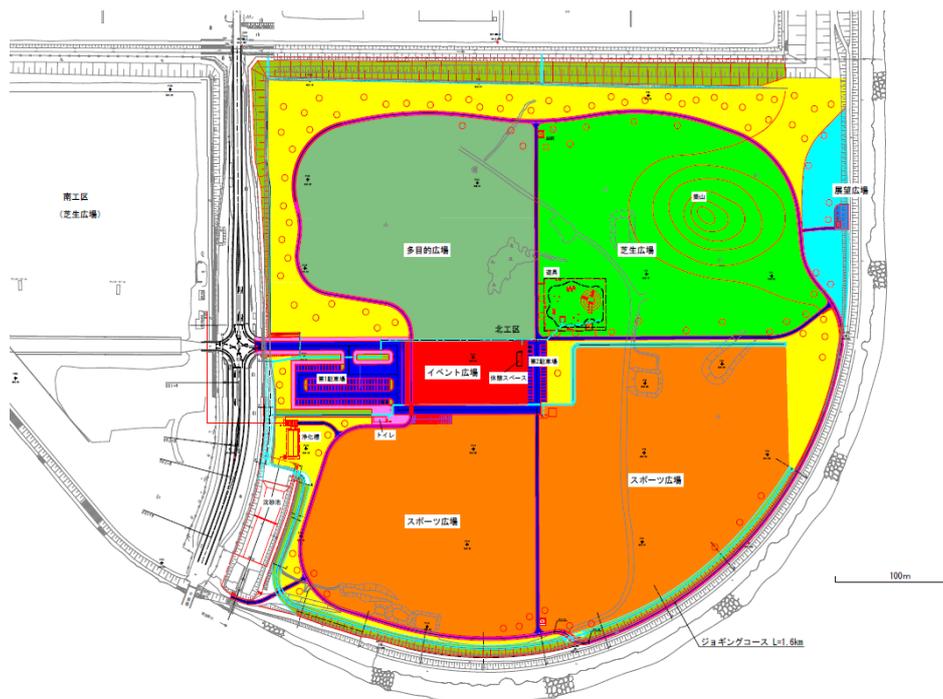
決算事項別明細書			P147	
大事業	55	都市基盤・生活	担当部署 土木建設課	
中事業	30	公園・緑地の整備	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	10	中海ふれあい公園整備事業費		款 08 土木費
事業開始年度		平成27年度		項 04 都市計画費
事業進捗度		70%		目 01 都市計画総務費
予 算 額		46,246,000 円	目的	新たな公園の整備を行い、市民の交流の場と憩いのスペースを創設すると共に、レクリエーションやスポーツ利用の推進を図る。
決 算 額 A		46,245,520 円		
財源内訳	国・県支出金	0 円		
	地方債	合併 43,900,000 円		
	その他			
	一般財源	2,345,520 円		
人件費コスト B	0.0人役	0 円	総事業費 A+B	46,245,520 円

【事業内容】

島根県の所有地であった（仮称）中海ふれあい公園について、平成27年度に財産の売渡を受け、安来市の新たな公園施設として整備を行うものである。（面積：北工区約21ha、南工区約10ha）  
 【事業期間：平成27年度～平成30年度】

○工事請負費 46,245,520 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・（仮称）中海ふれあい公園仮造成工事（A工区）	施工面積 A=7.8ha	H28. 1.19～ H28. 6.10
・（仮称）中海ふれあい公園仮造成工事（B工区）	施工面積 A=11.8ha	H28. 1.19～ H28. 6.20



						決算事項別明細書		P147		
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		土木建設課		
中事業	30	公園・緑地の整備				予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	15	公園管理費					款	08	土木費	
事業開始年度		平成28年度					項	04	都市計画費	
事業進捗度		-					目	02	公園費	
予 算 額		23,529,000 円				目的	公園・緑地の維持管理と施設の修繕等を行い、市民の憩い・交流の場を創出し、うるおいのある生活空間の確保に努める。			
決 算 額 A		22,614,431 円								
財源内訳	国・県支出金	0 円								
	地方債	0 円								
	その他	基金外	21,441,550 円							
	一般財源	1,172,881 円								
人件費コスト B		0.5人役	3,698,500 円		総事業費 A+B		26,312,931 円			

【事業内容】

約52箇所の公園・緑地の維持管理に併せ、各施設の改修・修繕を行い、市民の憩い・交流の場の維持管理に努めた。

○施設状況

- ・都市公園 6 箇所
- ・児童遊園 12 箇所
- ・緑地広場 28 箇所
- ・その他公園 6 箇所

○工事請負費 3,852,360 円

工事名	工事概要	工期（着工～実地完成）	
・大塚下水路改良工事	水路修繕	L=66m	H28. 5. 13～ H28. 7. 29
・安来運動公園照明灯修繕工事	照明灯修繕	N=3基	H28. 5. 27～ H28. 7. 29
・安来運動公園照明灯修繕工事（その2）	照明灯修繕	N=2基	H28. 10. 12～ H28. 12. 15

○委託料 15,089,240 円

- ・都市公園・児童遊園地遊具定期点検業務
- ・三日月公園便所清掃業務
- ・三日月公園浄化槽維持管理業務
- ・十神山なぎさ公園浄化槽維持管理業務
- ・飯梨川河川敷他維持管理業務
- ・汐彩公園他植栽維持管理業務
- ・三日月公園植栽維持管理業務
- ・飯島工業団地緑地維持管理業務
- ・安来公園桜樹維持管理業務
- ・三日月公園ふれあい館清掃業務
- ・安来公園指定管理
- ・安来運動公園指定管理
- ・広瀬中央公園指定管理

○その他 3,672,831 円

- ・公園施設に係るその他維持管理費

						決算事項別明細書		P121																																																					
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		下水道課																																																					
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計																																																				
小事業	10	浄化槽普及促進事業費					款	04	衛生費																																																				
事業開始年度		平成28年度					項	01	保健衛生費																																																				
事業進捗度		-					目	03	環境衛生費																																																				
予 算 額		3,814,000 円				目的	下水道整備が遅れている地域の公共用水域の水質汚濁解消及び水洗化向上を促す。																																																						
決 算 額 A		3,110,000 円																																																											
財源内訳	国・県支出金	国1/3	773,000 円																																																										
	地方債		0 円																																																										
	その他		0 円																																																										
	一般財源		2,337,000 円																																																										
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		3,110,000 円																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【浄化槽設置事業費】</td> <td>2,321,000円</td> <td>773,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,548,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">○平成28年度実績 (単位：基、円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人槽・区分</td> <td>補助限度額</td> <td>設置基数</td> <td colspan="2">交付額</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5人槽</td> <td>一般型</td> <td>332,000</td> <td>1</td> <td colspan="2">332,000</td> </tr> <tr> <td>高度処理型</td> <td>444,000</td> <td>2</td> <td colspan="2">888,000</td> </tr> <tr> <td>6～7人槽</td> <td>高度処理型</td> <td>486,000</td> <td>1</td> <td colspan="2">486,000</td> </tr> <tr> <td>8～10人槽</td> <td>高度処理型 (豪雪地帯)</td> <td>615,000</td> <td>1</td> <td colspan="2">615,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td>5</td> <td colspan="2">2,321,000</td> </tr> </tbody> </table>									【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【浄化槽設置事業費】	2,321,000円	773,000円	0円	0円	1,548,000円	○平成28年度実績 (単位：基、円)						人槽・区分		補助限度額	設置基数	交付額		5人槽	一般型	332,000	1	332,000		高度処理型	444,000	2	888,000		6～7人槽	高度処理型	486,000	1	486,000		8～10人槽	高度処理型 (豪雪地帯)	615,000	1	615,000		計			5	2,321,000	
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
【浄化槽設置事業費】	2,321,000円	773,000円	0円	0円	1,548,000円																																																								
○平成28年度実績 (単位：基、円)																																																													
人槽・区分		補助限度額	設置基数	交付額																																																									
5人槽	一般型	332,000	1	332,000																																																									
	高度処理型	444,000	2	888,000																																																									
6～7人槽	高度処理型	486,000	1	486,000																																																									
8～10人槽	高度処理型 (豪雪地帯)	615,000	1	615,000																																																									
計			5	2,321,000																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【水質保全対策事業費】</th> <th>775,000円</th> <th>0円</th> <th>0円</th> <th>0円</th> <th>775,000円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">安来インター工業団地内企業に、浄化槽の維持管理経費の一部(70%)に対して助成を行った。</td> </tr> <tr> <td colspan="6">○平成28年度対象事業所 2社</td> </tr> </tbody> </table>									【水質保全対策事業費】	775,000円	0円	0円	0円	775,000円	安来インター工業団地内企業に、浄化槽の維持管理経費の一部(70%)に対して助成を行った。						○平成28年度対象事業所 2社																																								
【水質保全対策事業費】	775,000円	0円	0円	0円	775,000円																																																								
安来インター工業団地内企業に、浄化槽の維持管理経費の一部(70%)に対して助成を行った。																																																													
○平成28年度対象事業所 2社																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【浄化槽管理センター負担金】</th> <th>14,000円</th> <th>0円</th> <th>0円</th> <th>0円</th> <th>14,000円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table>									【浄化槽管理センター負担金】	14,000円	0円	0円	0円	14,000円																																															
【浄化槽管理センター負担金】	14,000円	0円	0円	0円	14,000円																																																								

						決算事項別明細書			P121		
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		水道管理課			
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計		
小事業	15	特別会計繰出金費（簡易水道事業）					款	04	衛生費		
事業開始年度		平成28年度					項	01	保健衛生費		
事業進捗度		—					目	03	環境衛生費		
予 算 額		299,228,000 円				目的	特別会計繰出金費（簡易水道事業）				
決 算 額 A		299,228,000 円									
財源内訳	国・県支出金		—		0 円						
	地 方 債		—		0 円						
	そ の 他		基金		9,000,000 円						
	一 般 財 源		290,228,000 円								
人件費コスト B		0.0人役		0 円		総事業費 A+B		299,228,000 円			
特別会計繰出金費（簡易水道事業）											

						決算事項別明細書			P121		
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		下水道課			
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計		
小事業	20	特別会計繰出金費（個別排水処理事業）					款	04	衛生費		
事業開始年度		平成28年度					項	01	保健衛生費		
事業進捗度		—					目	03	環境衛生費		
予 算 額		11,393,000 円				目的	特別会計繰出金（個別排水処理事業）				
決 算 額 A		10,500,000 円									
財源内訳	国・県支出金		—		0 円						
	地 方 債		—		0 円						
	そ の 他		—		0 円						
	一 般 財 源		10,500,000 円								
人件費コスト B		0.0人役		0 円		総事業費 A+B		10,500,000 円			
下水道事業特別会計繰出金											

						決算事項別明細書			P121		
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		下水道課			
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計		
小事業	25	特別会計繰出金費（浄化槽市町村整備推進事業）					款	04	衛生費		
事業開始年度		平成28年度					項	01	保健衛生費		
事業進捗度		—					目	03	環境衛生費		
予 算 額		73,677,000 円				目的	特別会計繰出金（浄化槽市町村整備推進事業）				
決 算 額 A		69,200,000 円									
財源内訳	国・県支出金		—		0 円						
	地 方 債		—		0 円						
	そ の 他		—		0 円						
	一 般 財 源		69,200,000 円								
人件費コスト B		0.0人役		0 円		総事業費 A+B		69,200,000 円			
下水道事業特別会計繰出金											

						決算事項別明細書			P121		
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		水道管理課			
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計		
小事業	30	企業会計負担金（水道事業）					款	04	衛生費		
事業開始年度		平成28年度					項	01	保健衛生費		
事業進捗度		-					目	03	環境衛生費		
予 算 額		936,000 円				目的	企業会計負担金（水道事業）				
決 算 額 A		936,000 円									
財源内訳	国・県支出金				0 円						
	地 方 債				0 円						
	そ の 他				0 円						
	一 般 財 源				936,000 円						
人件費コスト B		0.0人役		0 円		総事業費 A+B		936,000 円			
安来市水道事業会計負担金											

						決算事項別明細書			P121		
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		水道管理課			
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計		
小事業	32	飲料水安定確保対策事業費					款	04	衛生費		
事業開始年度		平成28年度					項	01	保健衛生費		
事業進捗度		-					目	03	環境衛生費		
予 算 額		3,538,000 円				目的	水道施設の整備が困難な地域等において、飲料水の確保を図り定住を促進することを目的とする。				
決 算 額 A		3,538,000 円									
財源内訳	国・県支出金				0 円						
	地 方 債				0 円						
	そ の 他				0 円						
	一 般 財 源				3,538,000 円						
人件費コスト B		0.1人役		739,700 円		総事業費 A+B		4,277,700 円			
<p>【事業内容】</p> <p>市による水道整備が困難な地域に居住する世帯の飲用井戸設置に対する補助金を交付した。 西比田地区 2世帯</p> <p>制度の内容</p> <p>補助金額は補助対象経費（ボーリング工事費、ポンプ設置費等）が 150万円以下は2/3、150万円を超え250万円以下は対象経費から50万円を控除した額、 250万円以上は200万円を交付する。</p>											

						決算事項別明細書		P125									
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		下水道課									
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計								
小事業	35	コミュニティ・プラント運営費					款	04	衛生費								
事業開始年度		平成28年度					項	02	清掃費								
事業進捗度		-					目	03	し尿処理費								
予 算 額		2,500,000 円				目的	汚水処理施設（コミプラ）の定期的な維持管理を行い、快適な生活環境を創造し、周辺水域の水質保全を図る。										
決 算 額 A		1,863,522 円															
財源内訳	国・県支出金	0 円															
	地方債	0 円															
	その他	使用料外	732,749 円														
	一般財源		1,130,773 円														
人件費コスト B		0.0人役	0 円		総事業費 A+B		1,863,522 円										
<p>福頼団地のコミュニティ・プラント施設の定期的な維持管理費 (単位：戸、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>処理施設名</th> <th>供用開始戸数</th> <th>接続戸数</th> <th>接続率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福頼団地コミプラ</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>96.3</td> </tr> </tbody> </table>										処理施設名	供用開始戸数	接続戸数	接続率	福頼団地コミプラ	27	26	96.3
処理施設名	供用開始戸数	接続戸数	接続率														
福頼団地コミプラ	27	26	96.3														

						決算事項別明細書		P125		
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		環境政策課		
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	40	し尿処理施設運営費					款	04	衛生費	
事業開始年度		平成28年度					項	02	清掃費	
事業進捗度		-					目	03	し尿処理費	
予 算 額		103,524,000 円				目的	し尿処理施設の適正管理を図る。			
決 算 額 A		102,209,635 円								
財源内訳	国・県支出金	0 円								
	地方債	0 円								
	その他	使用料	1,260 円							
	一般財源		102,208,375 円							
人件費コスト B		0.3人役	2,219,100 円		総事業費 A+B		104,428,735 円			
<p>【事業内容】</p> <p>対仙浄園汚泥再生処理センターの施設運営について、性能発注の考え方に基づく包括的運営管理委託をすることで、長期的な経費の節減を行ったことにより維持管理の効率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・搬入量 し尿4,051kℓ、浄化槽汚泥7,162kℓ</li> <li>・搬出量 助燃剤201t、し渣57t、沈砂5t</li> </ul>										

						決算事項別明細書		P145	
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		土木建設課	
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計
小事業	45	河川総務費					款	08	土木費
事業開始年度		平成28年度					項	03	河川費
事業進捗度		-				目	01	河川総務費	
予 算 額		37,321,000 円				目的	河川の草刈や土砂浚渫を行い、防災対策にあわせ環境美化を図る。浸水の予防・高潮対策として排水樋門の点検・操作を行う。		
決 算 額 A		31,213,227 円							
財源内訳	国・県支出金		国	12,965,185 円					
	地方債		県	0 円					
	その他			0 円					
	一般財源			18,248,042 円					
人件費コスト B		0.7人役	5,177,900 円		総事業費 A+B	36,391,127 円			

【事業内容】

河川の草木の刈払いや土砂浚渫を行い、防災対策にあわせ環境美化を図った。また、浸水の予防・高潮対策として、排水樋門の点検・操作を行った。

- 工事請負費 1,571,400 円
  - ・西宮須ポンプ場高潮対策工事 N=1箇所
  - ・西宮須排水ポンプ修繕工事 N=2基
- 河川浄化対策委託料 21,486,460 円
  - ・自治会等委託 44件
  - ・業者委託 5件
- 高潮対策等委託料 3,992,760 円
  - ・西宮須高潮対策業務
  - ・南十神地区他高潮対策業務
- 浄化槽保守点検委託料 55,080 円
  - ・飯梨川公衆便所浄化槽維持管理業務
- 河川管理施設操作等手数料 3,779,685 円
  - ・国土交通省 樋門 26基、樋管 2基、閘門 5基
  - ・島根県 樋門 5基
  - ・安来市 樋門 4基
- その他 327,842 円

				決算事項別明細書			P145
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	40	上下水道の整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	47	内水対策費				款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度				項	03 河川費
事業進捗度		-				目	01 河川総務費
予 算 額		15,000,000 円			目的	中海近郊地の排水路を検討・整備し、高潮時の浸水予防を行うと共に内水対策を行う。	
決 算 額 A		10,104,427 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	一般(河川)	9,000,000 円				
	その他	0 円					
	一般財源	1,104,427 円					
人件費コスト B		0.5人役	3,698,500 円		総事業費 A+B	13,802,927 円	

【事業内容】

中海近郊地の排水路を調査し、高潮に伴う海水の逆流予防及び降雨時の内水対策を検討し、浸水被害を防ぐため、水路整備を行っている。

○工事請負費 5,132,160 円

工事名	工事概要		工期（着工～実地完成）	
・南十神7号線道路改良(内水対策)工事	道路改良延長	L= 22m	H28. 9.13～	H29. 1.31
・南十神7号線道路改良(内水対策)工事(その2)	道路改良延長	L= 20m	H28. 9.15～	H29. 2. 2
・【※次年度繰越】安来港十神線道路改良(内水対策)工事	道路改良延長	L= 36m	H29. 1.17～	H29. 7.31

※翌年度繰越額 4,597,000 円

○測量調査設計業務委託料 3,315,600 円

・安来港十神線外用地測量業務	用地測量業務	一式	H28. 5.17～	H29. 7.29
・安来港十神線外排水路検討業務	設計業務	一式	H28. 6. 1～	H28.12.20

○土地購入費 1,546,315 円

・宅地 38.95 m<sup>2</sup>

○物件移転補償費 35,832 円

・補償物件 一式

○事務費 74,520 円



竣工1



竣工2

					決算事項別明細書		P149
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		土木建設課
中事業	40	上下水道の整備			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	50	下水路改良費				款	08 土木費
事業開始年度		平成28年度				項	04 都市計画費
事業進捗度		-				目	03 都市下水路費
予 算 額		8,000,000 円			目的	雨水・生活雑排水の汚臭及び流水の沈滞をなくし、快適な生活環境づくりを図る。	
決 算 額 A		7,950,960 円					
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	7,950,960 円					
人件費コスト B		0.4人役	2,958,800 円		総事業費 A+B	10,909,760 円	

【事業内容】

まちづくりの基盤となる生活環境保全を図るとともに、雨水及び生活雑排水の汚臭並びに流水の沈滞を解消するため、市民生活に密着した下水路の整備に取り組む。本年度は中でも緊急性・重要性が高い箇所と、継続して工事を進めている神塚下水路の整備を行った。

○工事請負費 7,950,960 円

工 事 名	工事概要	工期（着工～実地完成）
・日白下水路工事	水路工 L=14m	H28. 5. 11～ H28. 8. 31
・宮中川下水路工事	水路工 L=34. 2m	H28. 5. 11～ H28. 9. 30
・神塚下水路工事	水路工 L=40m	H28. 5. 31～ H28. 9. 30
・大橋東下水路工事	水路工 L=11m	H28. 10. 27～ H29. 1. 27
・川原3号線下水路改良工事	水路工 L=10m	H28. 11. 2～ H28. 12. 20
・川原3号線下水路改良工事(その2)	水路工 L=10m	H28. 12. 6～ H29. 1. 31
・後飯島3号線他下水路改良工事	水路工 L=15m	H29. 3. 11～ H29. 3. 24

							決算事項別明細書			P149	
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		下水道課			
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計		
小事業	55	特別会計繰出金費（公共下水道事業）					款	08	土木費		
事業開始年度		平成28年度					項	05	下水道費		
事業進捗度		-					目	01	下水道費		
予 算 額		509,821,000 円				目的	特別会計繰出金（公共下水道事業）				
決 算 額 A		502,300,000 円									
財源内訳	国・県支出金				0 円						
	地 方 債				0 円						
	そ の 他				0 円						
	一 般 財 源				502,300,000 円						
人件費コスト B		0.0人役		0 円		総事業費 A+B		502,300,000 円			
下水道事業特別会計繰出金											

							決算事項別明細書			P149	
大事業	55	都市基盤・生活				担当部署		下水道課			
中事業	40	上下水道の整備				予算科目	会計	01	一般会計		
小事業	60	特別会計繰出金費（特定環境保全公共下水道事業）					款	08	土木費		
事業開始年度		平成28年度					項	05	下水道費		
事業進捗度		-					目	01	下水道費		
予 算 額		124,582,000 円				目的	特別会計繰出金（特定環境保全公共下水道事業）				
決 算 額 A		120,500,000 円									
財源内訳	国・県支出金				0 円						
	地 方 債				0 円						
	そ の 他				0 円						
	一 般 財 源				120,500,000 円						
人件費コスト B		0.0人役		0 円		総事業費 A+B		120,500,000 円			
下水道事業特別会計繰出金											

【繰越明許】

【繰越明許】			決算事項別明細書			P89	
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署	情報政策課	
中事業	50	情報化社会の構築	予算科目	会計	01	一般会計	
小事業	10	移動通信用鉄塔整備事業費		款	02	総務費	
事業開始年度		平成28年度		項	01	総務管理費	
事業進捗度		—		目	06	企画費	
予 算 額		62,390,000 円	目的	携帯電話不感地域の解消を図るため、携帯電話事業者の参入のもと、移動通信用鉄塔を整備する。			
決 算 額 A		48,662,640 円					
財源内訳	国・県支出金	国2/3					32,441,000 円
	地方債	過疎					12,600,000 円
	その他	分担金					3,553,144 円
	一般財源		68,496 円				
人件費コスト B		0.0人役	0 円	総事業費 A+B	48,662,640 円		

【事業内容】

携帯電話不感地域2か所（広瀬町宇波、広瀬町下山佐）について、携帯電話事業者から平成27年度の追加事業として参入申し出があったので、移動通信用鉄塔を整備した。



広瀬町宇波（篠ヶ原）



広瀬町下山佐（須谷）

					決算事項別明細書		P93
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		情報政策課
中事業	50	情報化社会の構築			予算科目	会計	01 一般会計
小事業	15	電子計算事務費				款	02 総務費
事業開始年度		平成28年度				項	01 総務管理費
事業進捗度		-			目	09 電子計算費	
予 算 額		442,421,000 円			目的	総合行政システム及び地域イントラネットを適正に管理する。	
決 算 額 A		319,907,765 円					
財源内訳	国・県支出金	国	7,148,000 円				
	地方債	合併	35,800,000 円				
	その他	基金外	3,432,752 円				
	一般財源		273,527,013 円				
人件費コスト B		2.7人役	19,971,900 円		総事業費 A+B	339,879,665 円	
<b>【事業名称】</b>		<b>事業費</b>	<b>国・県支出金</b>	<b>地方債</b>	<b>その他</b>	<b>一般財源</b>	
<b>【総合行政システムリース料・使用料】</b>		40,928,670円	0円	0円	1,432,752円	39,495,918円	
平成23年度に更新した総合行政システムのリース料及び使用料を支払った。							
<b>【総合行政システム管理事業】</b>		47,119,326円	0円	0円	0円	47,119,326円	
総合行政システムの適切な保守管理に努めた。							
<b>【社会保障・税番号制度対応事業】</b>		46,390,000円	7,148,000円	0円	0円	39,242,000円	
総合行政システム等の社会保障・税番号制度への対応を行った。							
<b>【地域イントラネット管理事業】</b>		63,277,515円	0円	0円	0円	63,277,515円	
市の情報インフラである地域イントラネットの適切な保守管理に努めた。							
<b>【新庁舎対応イントラネット再構築事業】</b>		2,095,200円	0円	0円	2,000,000円	95,200円	
安来庁舎新庁舎建て替えに伴い、イントラネットのネットワーク機器を整備し、併せて伯太・広瀬両庁舎の機器を更改する。							
※翌年度繰越額107,882,000円							
<b>【マイナンバー対応セキュリティ強化事業】</b>		95,304,600円	0円	35,800,000円	0円	59,504,600円	
社会保障・税番号制度の開始により求められるセキュリティ強化を行った。							
<b>【住基ネットワークシステム管理等事業】</b>		648,000円	0円	0円	0円	648,000円	
住基ネットワークシステムの保守管理を行った。							
<b>【証明書コンビニ交付事業】</b>		7,491,428円	0円	0円	0円	7,491,428円	
個人番号カードを利用した証明書等コンビニ交付システムの共同開発、運用を行った。							
<b>【LGWAN関連機器管理等事業】</b>		687,132円	0円	0円	0円	687,132円	
LGWAN(総合行政ネットワーク)に接続するために必要な機器のリース及び保守管理を行った。							
<b>【パソコン等管理事業】</b>		12,938,732円	0円	0円	0円	12,938,732円	
OA用PCの経年劣化とOSサポート切れに対応するため、PC更新を行った。(140台)							
<b>【しまね電子申請サービス事業】</b>		603,682円	0円	0円	0円	603,682円	
島根県電子自治体共同利用システム運営協議会が運営するしまね電子申請サービスを活用した。							
<b>成果指標</b>		<b>目標値</b>	<b>実績値</b>	<b>差引</b>			
電子申請システム手続き項目数		50	16	△ 34			
<b>【情報セキュリティ等研修事業】</b>		2,423,480円	0円	0円	0円	2,423,480円	
地方公共団体情報システム機構が主催する情報セキュリティ研修に参加した。							
職員が他自治体の動向等の情報収集に利用するため、時事通信社による自治体向け情報サービスの提供を受けた。							

					決算事項別明細書		P97																																																																																												
大事業	55	都市基盤・生活			担当部署		情報政策課																																																																																												
中事業	50	情報化社会の構築			予算科目	会計	01 一般会計																																																																																												
小事業	20	地域情報化推進事業費				款	02 総務費																																																																																												
事業開始年度		平成28年度				項	01 総務管理費																																																																																												
事業進捗度		-				目	14 地域情報化推進費																																																																																												
予 算 額		18,100,000 円			目的	安来市情報ネットワーク施設を適切に維持管理するとともに、情報通信技術の利活用を推進する。行政告知放送の利用促進を図る。																																																																																													
決 算 額 A		16,924,099 円																																																																																																	
財源内訳	国・県支出金	国10/10	3,331,243 円																																																																																																
	地方債		0 円																																																																																																
	その他	財産収入外	1,071,165 円																																																																																																
	一般財源		12,521,691 円																																																																																																
人件費コスト B		2.6人役	19,232,200 円		総事業費 A+B	36,156,299 円																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【告知端末設置委託事業】</td> <td>2,342,520円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>2,342,520円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">住宅の新築等により告知端末の新設が必要となった市民に対し、当該設置業務を委託実施した。</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>告知放送普及率 (%)</td> <td>83.5</td> <td>83.8</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>【防災情報ステーション等回線使用】</td> <td>1,892,160円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,892,160円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">避難所施設等に設置した防災情報ステーション等の回線使用料を支払った。</td> </tr> <tr> <td>【安来電線共同溝関連事業】</td> <td>3,532,410円</td> <td>3,331,243円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>201,167円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">一般国道9号における安来電線共同溝整備事業の実施に伴い、占用予定者として事業主体（国）に負担金を支払った。 併せて、安来市情報ネットワーク施設（光ケーブル）の事前支障移設を委託実施した。（国が全額補償）</td> </tr> <tr> <td>【CATV視聴料減免補助事業】</td> <td>213,840円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>213,840円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">テレビ難視聴地域に居住し、経済的理由でケーブルテレビへの加入困難な世帯に対し、ケーブルテレビ利用料の一部を補助した。（補助率3/8）</td> </tr> <tr> <td>【ブロードバンド・インフラ整備事業】</td> <td>6,264,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>6,264,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">飯島町地内の新規住宅造成地におけるブロードバンド通信線の不足を解消するため、当該造成地に光ケーブルを敷設し、センター局舎に光アンプを設置した。</td> </tr> <tr> <td>【その他】</td> <td>2,679,169円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,071,165円</td> <td>1,608,004円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">情報通信施設管理費ほか</td> </tr> </tbody> </table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【告知端末設置委託事業】	2,342,520円	0円	0円	0円	2,342,520円	住宅の新築等により告知端末の新設が必要となった市民に対し、当該設置業務を委託実施した。						<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>告知放送普及率 (%)</td> <td>83.5</td> <td>83.8</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	目標値	実績値	差引	告知放送普及率 (%)	83.5	83.8	0.3	【防災情報ステーション等回線使用】	1,892,160円	0円	0円	0円	1,892,160円	避難所施設等に設置した防災情報ステーション等の回線使用料を支払った。						【安来電線共同溝関連事業】	3,532,410円	3,331,243円	0円	0円	201,167円	一般国道9号における安来電線共同溝整備事業の実施に伴い、占用予定者として事業主体（国）に負担金を支払った。 併せて、安来市情報ネットワーク施設（光ケーブル）の事前支障移設を委託実施した。（国が全額補償）						【CATV視聴料減免補助事業】	213,840円	0円	0円	0円	213,840円	テレビ難視聴地域に居住し、経済的理由でケーブルテレビへの加入困難な世帯に対し、ケーブルテレビ利用料の一部を補助した。（補助率3/8）						【ブロードバンド・インフラ整備事業】	6,264,000円	0円	0円	0円	6,264,000円	飯島町地内の新規住宅造成地におけるブロードバンド通信線の不足を解消するため、当該造成地に光ケーブルを敷設し、センター局舎に光アンプを設置した。						【その他】	2,679,169円	0円	0円	1,071,165円	1,608,004円	情報通信施設管理費ほか					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																														
【告知端末設置委託事業】	2,342,520円	0円	0円	0円	2,342,520円																																																																																														
住宅の新築等により告知端末の新設が必要となった市民に対し、当該設置業務を委託実施した。																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>告知放送普及率 (%)</td> <td>83.5</td> <td>83.8</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	目標値	実績値	差引	告知放送普及率 (%)	83.5	83.8	0.3																																																																																						
成果指標	目標値	実績値	差引																																																																																																
告知放送普及率 (%)	83.5	83.8	0.3																																																																																																
【防災情報ステーション等回線使用】	1,892,160円	0円	0円	0円	1,892,160円																																																																																														
避難所施設等に設置した防災情報ステーション等の回線使用料を支払った。																																																																																																			
【安来電線共同溝関連事業】	3,532,410円	3,331,243円	0円	0円	201,167円																																																																																														
一般国道9号における安来電線共同溝整備事業の実施に伴い、占用予定者として事業主体（国）に負担金を支払った。 併せて、安来市情報ネットワーク施設（光ケーブル）の事前支障移設を委託実施した。（国が全額補償）																																																																																																			
【CATV視聴料減免補助事業】	213,840円	0円	0円	0円	213,840円																																																																																														
テレビ難視聴地域に居住し、経済的理由でケーブルテレビへの加入困難な世帯に対し、ケーブルテレビ利用料の一部を補助した。（補助率3/8）																																																																																																			
【ブロードバンド・インフラ整備事業】	6,264,000円	0円	0円	0円	6,264,000円																																																																																														
飯島町地内の新規住宅造成地におけるブロードバンド通信線の不足を解消するため、当該造成地に光ケーブルを敷設し、センター局舎に光アンプを設置した。																																																																																																			
【その他】	2,679,169円	0円	0円	1,071,165円	1,608,004円																																																																																														
情報通信施設管理費ほか																																																																																																			